京城日報

二十三日夕刊

定價 本紙一部金五錢 一ヶ月金六十五錢 ...
廣告料 ...
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之介
電話 編輯局 ... 營業局 ...
振替貯金口座京城 ...

◎吉長鐵條約調印近し

吉長鐵道借款契約調印の爲め龍居滿鐵理事北京に來るべし期限は支那の要求通り四十年に短縮せらる借款額六百五十萬圓で營業權を獲得したり(北京特電)

◎招商局對日本賣却說

支那政府は招商局を日本に賣却するの意あり日本資本家は資本金六千萬圓を準備し其の代表者は三百萬圓を携へて上海に來れりとの說あり(上海特電)

◎駐支佛公使歸國せん

駐支佛國公使コンティ氏は八月末本國へ歸國すべし(北京特電)

◎ワルセオンゾ河を渡る

伊軍捕虜七千五百を獲

伊太利公報に據れば伊軍はワルセオンゾ河を渡り捕虜七千五百名を獲たり(倫敦電報)

◎兩院建築會 調査會設置

政府は今回貴衆兩院議院建築に關する事項を調査する爲め大藏省に議院建築調査會を設置したり會長は大藏次官之に當り委員は各廳高等官及び學識經驗あるものを指命して囑託すべしと(東京特電)

◎奧田男陞敍

奧田東京市長危篤の旨天聽に達するや特旨を以て位一級を進められ從二位に叙せられたり(東京特電)

◎政務總監通過

山縣政務總監は二十二日午前五時四十分來釜同六時四十分壹岐丸にて內地へ(釜山特電)

◎釜山名士著發

新任陸軍省馬政局書記官藤田嗣雄氏、滿鐵理事龍居賴三氏、鐵道院總裁秘書岩永祐吉氏、京城露國副領事マリーニン氏等は二十二日朝高麗丸にて來釜同十時半發列車にて京城へ向ふ(釜山特電)

◎山田少將通過

陸軍少將山田四郎氏は二十二日午前五時四十分來釜同午後六時御用船安平丸にて任地小倉へ向け出發せり(釜山特電)

◎廣田校長休職(東京特電)

釜山中學校長從六位 廣田直三郎

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ズ

◎宮木長官通過

全羅南道長官宮木又七氏は廿一日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出帆關釜連絡船さくら丸にて通過內地へ赴けり(釜山特電)

◎竹内軍高級副官

新任朝鮮駐劄軍司令官松川敏胤中將出迎の爲め竹內軍高級副官二十二日朝來釜せり(釜山特電)

◎遠藤秘書官

遠藤秘書官は山縣政務總監を釜山迄見送り二十三日午前十時三十分發にて歸京せり(釜山特電)

◎守備隊集中

龍山新聯隊來期

大田に聯隊本部を置く第四十旅團步兵第七十九聯隊を龍山に移轉し大田には大邱步兵第八十聯隊の一個大隊を駐屯せしむるに決し居る事は既報の如きが其の時期に付聞く所によれば目下晝夜兼行切りに新營を急ぎつゝある龍山の第七十九聯隊兵營は來る十一月竣工の筈に付乃ち大田聯隊にては滿期除隊兵を內地に歸還せしめ補充新兵の入營を迎ふる間に移動し來るべく同時に江原、原州、春川並に忠淸北道、淸州、其他に分駐し居る大田聯隊に屬する各守備隊は全部龍山に集中され大田營には直ちに大邱聯隊の一個大隊入隊すべしと

◎公式著任の儀式

軍司令官龍山著の日

朝鮮駐劄軍司令官陸軍中將松川敏胤氏は竹內中佐野津大尉の兩副官を隨へ二十三日午前八時四十分龍山驛へ著公式入京に付駐劄軍にて著任儀式として騎兵中隊長の指揮する騎兵一個小隊は同日午前八時三十分迄に龍山驛前に到り儀仗に服すべく步兵第七十八聯隊大隊長の指揮する同聯隊の一個大隊朝鮮步兵の一個中隊は龍山驛前を右翼とし軍司令部に通ずる道路の北側に沿ひ堵列し野砲兵中隊は午前八時廿分迄に軍司令部構內にて禮砲式を施行する事に決定せり

◎官邸の伺候式

松川軍司令官は二十三日午前八時四十分龍山驛著入京後直ちに官邸に入る事に決定し居れるが午前九時二十分より軍司令部師團司令部龍山駐劄諸隊の上長官以上は伺候のため同時刻十分前迄に官邸に參集伺候す

◎南岸燈臺新設

今回其筋に於ては朝鮮南岸慶尙南道統營郡小毎忽島附屬南方の無名島、北緯三四度三七分九秒、東經一二八度三二分五六秒の個所に第六等アーガ式瓦斯連閃光白色燈臺を建設す

◎校費徵收改規

公立普通學校費用令施行規則中改正の件は廿三日の官報を以て告示のことゝなれり右は從來公立普通學校費用の負擔金は府尹、面長に於て之を徵收するの慣例なりしが今回面制の發布に伴ひ第一條及び府制第一條の規定に關聯して其の徵收事務を明文を以て府面に屬せしめ且之が徵收の費用辨償の方法を設くると同時に府、面に於て避く可からざる災害に因り既收の徵收金を失ひたる場合に於ける處理方法を規定せるものなり

◎警官官服改規

巡査及び巡査補給與品貸與品規則中改正の件は二十三日の官報に依り府令を以て發布のことゝなれり、其の內容は第一條中「甲種外套」を「外套」に「乙種外套」を削り「手套」を「冬手套夏手套」に改めたるものにして巡査及び巡査補の被服は特別のものを除くの外は從來一套を給するのみにて著換なき爲め支障尠からざる場合あり依つて從來の使用年限を延長して初任の際には二套を給與し常に二套以上を所持せしめて以て此の缺點を補はむとするに在り

◎留學生表彰

今回總督府にては恒例に依り朝鮮人留學生にして成績優良なる左記の者に對し一般學生の奬勵の意味を以て中等程度以上の學校生徒には五圓、同以下の生徒には三圓の奬學に依り夫れ〳〵表彰する處あり右表彰されたる學生は何れも思想穩健品行方正にして本學年の試驗に優等の成績を擧げ進級若くは卒業したる者なり

明治大學專門部法律科 金[illegible]
早稻田大學大學部文學科 [illegible]千善
明治大學專門部法律科 金命洙
早稻田大學大學部文學科 李光洙
同 玄相允
同 金[illegible]淵
佐賀縣江北[illegible]小學校 李瑞壽

◎醫師試驗期日

醫師試驗施行の件は二十三日の官報を以て告示の筈なるが今回は十月二十二日より總督府醫院內に於て擧行さる可く試驗を受けむとする者は九月三十日までに試驗規則第六條の願書附屬書類及び最近撮影の寫眞(手札形)を警務總監部に提出す可し尙ほ此の度の試驗は特に朝鮮文又は朝鮮語のみを以て之を受くることを得ることゝなれり

◎藥劑師試驗

藥劑師試驗は十月十日より總督府醫院內に於て擧行のことに決し二十三日の官報に依り告示を以て公布の筈なり、試驗を受けむとする者は九月二十五日までに試驗規則第四條に依る願書附屬書類及び寫眞を提出す可しと

鮮銀成績(上)

二十一日株主總會に於ける 美濃部總裁の演說

(當季間に於ける當銀行營業の狀況を略述し之を株主各位に報告せんとするに當り先づ一般經濟界の狀況を陳述すべし)

一般經濟狀況

▼朝鮮 前季好況の後を承けたる朝鮮經濟界は越年と共に少しく變調を現し米穀は産地高となり新規取引を妨げ却て外米及び滿洲粟の輸入を誘ひ又先年來活躍を呈したる牛皮市場も一時不況に陷り加ふるに本春は稀有の寒氣に會して市況一般寂寥に傾き殊に諸工事は二月に至るも尙著手するに由なく勞々財界多少の打擊を蒙りたりしも全季を通じ尙露國軍需米の輸出行はれ大豆は市價依然圓滑調を示し鑛産物の輸移出多額に上るあり又蠶業の發達は長足の進步を爲し其の品質特に良好にして移出貿易の主要品となるに至れるあり其の間內地に於ける綿絲布の上騰は各地に於て先高見越の取引を旺ならしめ更に北鮮方面に於ける春初の明太魚季末の鯖共に豊漁なりしかば大勢依然活況を呈し唯季末に近づき露國に於ける禁輸令の實施せらるゝあり露貨の更に暴落を示すあり爲めに我對露貿易に尠からざる打擊を與へ又本季の寒害と春季の降雨不足とは麥作の減收を豫想せしめ且つ稻作も一時旱魃の爲挿秧困難を感じ前途を悲觀せしむるものありたるも大體に於て前記の大勢を動かすに足らず尙ほ當季間中特に注目に値するは朝鮮企業界の趨勢にして近時諸種の事業計畫勃興の氣運を示し就中製糖、製紙、製粉、セメント製造等新工業の計畫を見るに至りしは朝鮮經濟界の爲に甚だ喜ぶべきことに屬す

轉じて朝鮮貿易の狀況を見るに當季間に於ける普通商品の貿易は輸移出入總額八千零六十餘萬八千八百二十七圓にして前年同季に比し二千五百二十三萬三千八百二十一圓の增加を示せるは前記の如く經濟界好況なりし反映と見るべし唯輸移出額の三千五百七十九萬七千六百九十四圓に對し輸移入額四千四百八十四萬七千百三十三圓なるを以て茲に九百五萬九千四百三十九圓の入超を見たるも一方に地金銀の出超四百六十五萬五千九百五十六圓に上れるが故に結局純輸移入超過額は四百三十九萬三千四百八十三圓に止れり

朝鮮經濟界の狀況斯くの如し從て例年經過を以て終始すべき上半季の金融界も本年は左迄甚しき引緩みを見ず其の季末の銀行券發行高の如きは別項に揭ぐるが如く尙三千九百八十九萬餘圓を存し上半季の發行高としては未曾有の高額を示せり

▼滿洲 前年來の船車の不足、銀高に依る相場の不引合並に特産物下落とは一時輸出不振の因を爲し又露貨並に官帖の暴落は滿洲財界に多少の混亂及び支那の政變等は滿洲財界に多少の打擊を與ふるものなきにあらざりしも共に大勢に影響を及ぼすことなく輸出方面に於ては米國筋よりの小豆、豆油、芝麻、雜穀等の買付多額に上り季末に至り內地の米價暴騰は折柄豆粕需要期とて之が輸出甚だ旺盛を極め殊に豆粕は南支方面への輸出例年になき好況を示し且つ米高の爲め粟の需要を喚起し朝鮮向輸出旺盛を告げたり又輸入方面に於ては間斷なき銀價の騰貴と昨年豊作の餘澤とは在滿支那人の購買力を增進せしめたれば綿絲布始め其の他輸入雜貨は全季間を通じ賣行極めて良好なりき且つ當季に於ては南滿製糖外各種會社の成立するあり加之鞍山站製鐵所其の他滿鐵都督府等の大小工事の著手せらるゝもの多かりしかば市況殷賑の狀を呈し從て資金の移動又繁忙を極めたり

◎紡織敷地調査 調査委員來鮮

朝鮮紡織會社敷地調査委員田邊輝雄氏及び技師藤原林平氏は二三日前釜山來著目下釜山に於て諸種の調査を進めつゝ有るが仁川には本月末頃到著すべく田邊氏より商業會議所に向け通知ありたり

◎證券百萬圓 應募

鮮滿に於ける鮮銀扱ひ 鮮滿に於ける日本銀行代理店たる朝鮮銀行本支店に對し其の賣出しに係る臨時國庫證券應募の申込みは二十二日正午迄の所約九十萬圓に達し其他に直接東京鮮銀支店に申込みたるものあるに付之れを合計すれば約百萬圓に達し頗る好況なり尙右は大部分鮮滿に於ける銀行の應募にて個人應募は約四萬圓內外に過ぎずとの事なり

◎鮮銀行員遣露

阿部股野の兩氏に決定

朝鮮銀行にて某重要使命を帶びさせ露國に行員派遣の議ある事は屢報の如きが二十一日愈々哈爾賓支店長阿部讓並に營業局司事股野貫之の兩氏を出張せしむる事に決定せしが兩氏は來る三十一日ハルビン發歐露急行列車に搭乘すべし尙ほ阿部支店長は目下入京中なるが二十三日午前九時十分南大門驛發列車にて任地に歸り股野氏の來著を待つべく股野氏は多分二十八日南大門驛發列車にて出發すべし

◎龍居滿鐵理事

滿鐵理事龍居賴三氏は二十二日午後九時南大門驛著同九時四十分發列車にて北行すべく岩永鐵道院秘書も同行し居れり尙ほ二十二日朝刊に龍居氏を滿鐵祕書役とせしは誤りなり

◎換算率變更

日滿連絡貨物引換代金換算率中鮮鐵著の場合は從來露貨百留に付四十二圓の所二十一日以降四十二圓八十二錢となす旨京管局に通知ありたり

◎河野大佐渡歐

陸軍騎兵大佐に昇進し騎兵第一聯隊長に補せられたる前總督附武官河野恒吉氏は歐洲戰爭觀戰のため渡歐を命ぜられ九月上旬多分六七日頃渡歐の途次京城に立寄る旨總督府の某氏に消息ありたり

◎牧野博士動靜

東京帝國大學教授法制局參事官法學博士牧野英一氏は二十三日午前五時四十分著列車にて大邱より來釜し直ちに東萊溫泉場に赴き休養をなし同夜八時三十分出港連絡船にて歸東の筈なり(釜山)

◎楢崎大連埠頭長

滿鐵大連埠頭事務所長楢崎猪太郎氏は東京より歸連の途二十日夜入港關釜連絡船さくら丸にて來釜同夜ホテルに投宿し二十一日釜山埠頭の諸設備を視察し同午後十一時發列車にて歸連せり(釜山)

◎李光洙氏表彰せらる

本社の五道踏破旅行記者として本紙上に麗筆を揮ひつゝある早稻田大學大學部文學科特待生李光洙氏は別項「留學生表彰」記事の如く今般總督府に於て思想穩健品行方正且つ本學年試驗に於て優等の成績を擧げたる者として表彰せられ又崔南善氏令弟崔斗善氏も同樣表彰せられたるなり

◎金剛山探勝團出發

朝鮮新聞社主催にて金剛山探勝團募集中の處愈々廿二日午前九時三十分發列車にて一行二十餘名首途勇ましく南大門驛より出發したり往復一週間の豫定なりと

◎探勝團豫定變更

京城管理局大阪出張所主催に係る金剛山探勝團は日程を左記の如く變更せり

(二十三日より二十四日に亙り南大門平壤間二十四日平壤仁川間二十五日仁川釜山間二十五日夜釜山發連絡船にて歸阪)

因に同出張所にては更に第二回團員募集すべしと云ふ

◎大連より啓上

十九日 通信員

▲都督長官送迎會 旅順に於ては十七日前都督中村覺將軍前民政長官白仁武氏前警務總長佐藤友熊氏の送別會並に新都督中村雄次郎男新長官宮尾舜治氏新警務總長隈部少將の歡迎會を兼ね旅順公會堂に於て一大送迎會を開きたるに會する者無慮五百餘名旅順空前の大盛會にて有之申候、次で大連官民有志は十八日午後七時よりヤマトホテル樓上に於て前都督長官警務總長三氏の送別會を開催したるに出席者官民二百六十餘名是亦稀有の盛會にして三氏とも出席せられ申候

▲白仁前長官出發 前民政長官白仁武氏は家族同伴十九日午前十時出帆の臺南丸にて出發東上し拓殖局長官として赴任せられ申候處、旅順に於ては其の前日(十八日午前十一時)出發の際に都督長官以下官民一千餘名の見送りあり又旅順市長大紘文平氏は旅順市民を代表して大連まで見送り十九日乘船の時には大連官民有志數百名の見送りありて白仁長官は一々之に會釋挨拶し十年慣れたる滿洲の地を跡にして愈よ定時に出帆東上せられ申候、而して中村覺將軍佐藤前總長は共に本月末出發の豫定に御座候

▲新都督巡閱 新任都督中村雄次郎男は二十七八日頃より管內巡閱を爲すべく先ず第一著に旅順管內を巡視し卅日には大連柳樹屯を巡閱し爾來北行して鐵道沿線に及び申すべく候、此行の隨員は隈部警務總長、高山參謀長、其他副官多數にして奉天に於て張督軍等と會見せらるゝ筈前滿鐵總裁として相識の間なれば定めし面白き談話も可有之と存候

▲宮尾長官の勵精 新任民政長官宮尾舜治氏は十六日朝著任したるが氏は汽車中多數新聞雜誌の記者に肉薄せられ乍ら磊落闊達巧に應接を致し先ず第一に好印象を與へ都督府著任後も部下一統に訓示を與ふるに簡單にして要領を得、而も事務を執ること頗る勵精、最も好評を博しつゝ有之申候、中村都督に配するに宮尾長官を以てしたるは實に人物配合の妙を得たるものにして况んや隈部憲兵少將の毅然たるあり關東州の治安、滿洲の植民政策、之より大に見るべきものあらんと期待せられ申し候

◎馮總統の調停依賴

馮大總統は岑春煊氏に對し南方との調停を依賴せり(北京電報)

◎膠州灣と米紙所論

紐育ヘラルドは論じて曰く、日本は膠州灣の如き有力なる海軍根據地を獨逸に返附するを欲せざるべし之を返附するは日本政府の自殺を意味するものにして日本の自殺を好まざるは云ふまでもなく明かなりと(紐育電報)

◎米大統領講和拒絕

米國大統領ウキルソン氏は斷然羅馬法王の講和提議を拒絕すると共に平和條件を揭げて世界自由主義鼓吹の政策を提示すべしと(紐育電報)

◎米國石井特使と協議せん

羅馬法王提議に係る講和問題に關し米國大統領ウキルソン氏は我が遣米特派大使石井子爵と協議する所ある可し(華盛頓電報)

◎希臘全國に戒嚴令

希臘政府は全國に戒嚴令を布けり(雅典電報)

◎露國廢帝一家移送

露國廢帝ニコラス一家族はトボリスクに移送されたり(哈爾賓電報)

◎加奈陀兵器會社爆發

十九日加奈陀ドラゴン兵器會社爆發し死者二百名を出したり(紐育電報)

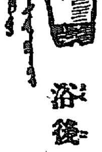
◎安東縣より

▲害蟲發生と穀價 平安北道義州、龍川、定州の各郡其他沿線地方に夜盜蟲發生し其被害豫想甚大なる見込にて本月十九日義州梧市市場に於ける穀價は著しく暴騰し粟の如き一斗に付四十錢高を示せりと ▲鴨綠材著筏數 本月二十日迄に於ける支那側採木公司著筏數を聞くに總數二千零七十臺此連數七十九萬六千九百五十連內賣買取引濟一千七百十二臺此連數六十四萬三千八百十連價格約百十八萬三千四百兩にして殘り下旬三十臺內外の著筏を見つゝある最近渾江增水の報ありたるを以て數日後には一日四五十臺の著筏を見るに至る可し ▲安東信託總會 安東信託株式會社は十九日午後六時より同社事務所に於て第四回定時株主總會を開催せるが出席株主十名此株數五百六十株委任狀一通此株數四十株にて大原常務取締役營業狀況を報告し次いで貸借對照表其他諸帳簿の報告並に監査役の監査報告ありて利益金分配案を附議せる結果滿場一致左の通り可決せり ▲金二千四百六十六圓四十七錢五厘 當期益金 ▲金一百二十圓法定積立金、金一千二百圓別途積立金、金三十圓役員賞與金、金一百八十圓[illegible]、金三百七十五圓株主配當金(年一割)、金五百六十一圓四十七錢五厘後期繰越金

人事消息

▲楢崎猪太郎氏(滿鐵大連埠頭事務所長) 二十二日午前內地より入京朝鮮ホテルへ
▲宇都宮寬氏(元總督府技師) 廿二日午前內地へ
▲岡狀一氏(鎭海守備隊長陸軍中佐) 二十一日午後馬山へ向け通過
▲杉山靜氏(元鎭海憲兵分隊長) 二十一日午後釜山へ
▲松村亞宏氏(醫學) 二十一日午後安東へ
▲富士岡重一氏(總督府技師) 二十一日附平壤に出張を命ぜらる
▲今野清氏(同上) 同日附忠淸南道公州へ
▲小倉鏗三氏(園藝家) 廿二日入京滿處へ
▲白石赤邦氏(林業家) 同上
▲大阪金剛山探勝團一行 廿二日午後元山より入京巴城館及び天眞樓へ分宿
▲第一高等學校修學旅行團一行 二十二日午後七時五十分退京の豫定
▲中村時章氏(辯護士) 廿二日朝退京元山へ(月末歸京)

浴後に



◎歐洲戰場に於ける聯合軍の西部戰線大攻擊が、羅馬法王の平和提議と、相前後して開始されしは、巧妙なる無言の應酬と觀るべし。暴風雨の後に非ずんば、晴天を見る能はざる也。

◎馮總統の侍醫、總統は衰弱尙ほ快復せず、腦務を診斷す。果して然らば、既に六十才以上の老齡、決して等閑に附すべからず。

◎秋風未だ病葉を拂はざるに、大隈博士南湖に眠り、義人博士亦た逝く。時代人物の凋謝、一基の墓表僅かに生前の功績を語る。嗚呼。

◎京城大食會員諸君、頃日其の消息に接せず。此程紐育の大食家は、四羽の雞に、氷菓子二升餘を平げて平然たりと。京城の諸君、以て奈何となす。

秩序は案外靜穩
△國境封鎖の解禁された浦鹽

十九日浦鹽より清津に入港せる朝鮮郵船平安丸船長は浦鹽の近情に就き次の如く語りたり

浦鹽國境封鎖は十五日限りにして十六日より解禁され十五日午後浦鹽出帆敦賀行鳳山丸にては既に解禁時間も數時間の後とて乘船を願出でたるもの多かりしも露國官憲は之を許可せず只だ近く東京に開催さるべき日露貿易業者大會へ

◆浦鹽より出席する 日本人代表者二名が乘船を特に許可せられたるのみならず十八日平安丸及び同船と相前後して出港敦賀に向ひし義勇艦隊の彫斐は初めて乘客を搭載せり、平安丸には清津上陸八十一名城津元山上陸二百二十餘名計三百十餘名あり中内地人數名と支那人五十餘名の外は全部朝鮮人なりしが未だ出稼者の歸還期にも入らざるに斯く多數の歸還者ありたるは全く國境封鎖の爲め滯留客の乘船せしに因れり

◆今回の乘船者に對 しては解禁第一事の事とて乘客の取調べ等あらんかと思はれしもさる事なく案外簡易なりし、露國政府が今回國境を封鎖せしは一に同地方上獨探檢擧の爲なりと云ふも亦一說には革命以來米國等より歸來せる過激なる社會黨員を逮捕して國内の治安を維持せんとせる結果なりと而して國境封鎖中海港又は鐵路によりする封鎖は嚴重に行はれたるが如きも露支國境方面の封鎖は廣漠なる國境線ご て到底充分なる能はず現に清津地方某國人にして封鎖中ボシエットを

◆經由して陸路清津 に歸着せるを聞けり露貨は依然暴落の儘にて現に外國向爲替禁止され居るを以て銀行等は殆んど休業の有樣なり而して露政府は更に留露國外流出防止策として近來旅客の携帶品に制限を加へ五百留以上の携帶を許さざる事なり、一般市況は露貨暴落外國向爲替禁止等にて不振を免れざるも内地人料理店等は非常に賑ひ居れり、浦鹽の秩序は案外靜穩なる時なるも強盜現はれ兇行を爲せる本船碇泊中も通稱朝鮮町日本人料理屋に於て一支那人は殺害され又た碇泊中なりし秀吉丸水夫支那人は歸船の途中をピストルにて狙撃されしも幸に無事なりしが之が爲め港内通船の如き午後七時露國にては八時の未だ明き中より交通を停止し居れり尚ほ此等兇行者は多く無賴の兵士なりと聞く（清津）

法曹界の恩人
薨去せる奥田男

去る十四日授爵の恩命を拜授した奥田義人男は二十一日宿痾革まつて遂に薨去した、享年五十八歳まことに惜しむべき限りである男は明治十七年に帝大を卒業し間もなく故伊藤公總裁の憲法取調局御用掛として働らいたが其の後

◆累進して 農商務次官、文部次官となり更に司法大臣、文部大臣に歴任したのであつた、男は日本の教育界にも法曹界にも功勞があつた中央大學も創設し民法に於ては權威と稱せられて居た、若い時から誠に眞面目な

◆立派な人 で餘程頭腦も緻密であつた、されば一度やらうと決心したことは飽迄これを斷行する底の人で最近東京市長として電車電燈兩問題を解決した如き好個の一例である、元來男は烈士の家を嗣いだ人で先代贈正五位奥田萬次郎氏は

◆鳥取藩士 で勤王家として知られた人であつた、這回華族に列せられたのは主として皇室典範を始め皇室令等の法典調査制定に力を盡した爲めであつて數日前一家此の有難き恩命によろこんだ甲斐もなく今また此の

◆悲しみに 逢ふとは洵に氣の毒なことである、生前の趣味として格別これといふものゝなかつた人で唯だ庭いぢりと煙草が道樂位ゐなものであつた、夫人やゑ子（五一）との間には三男四女あり長女さき子（三九）は松平忠敬子嗣子に次女だつ子（三五）は實業家和田正彦氏に嫁し長男剛郎氏（三〇）は長崎の三菱造船所に勤て居る

奥田男は市葬

故奥田義人男が東京市長在職中の功勞没すべからざるものあり殊に在職のまゝ薨去せるを以て東京市にては男の葬儀を市葬となすことに決定したり（東京特電）

晝夜試通
二十一日の給水量は三十五萬九千立方尺

京城水道にて數日來降雨ありたると氣温著しく低下せるより二十一日試驗的に晝夜の通水を爲せしに給水量三十五萬九千立方尺といふ數字を示せるより引續き今二十二日も試驗的に晝夜の通水を行ふべし因みに二日間試驗の結果四十萬以下の給水量を見るに至らば何餘引續き晝夜の通水を爲し得べき豫想なりと

鳥羽丸撃沈さる

日本郵船會社所有最新式汽船鳥羽丸（七千二百九十六噸）は倫敦の西方一千哩の大西洋上にて獨逸潜航艇の爲めに撃沈さる乘組員全部無事の見込なり（東京特電）

ハリス博士の愛に生きた娼妓
愈々廢業す

本紙讀者は曾て山縣氏の『ハリス博士の新町通ひ』及び『ハリス博士の救はんとする女』等の記事を讀み事件の大要を今猶記臆し居るべし、ハリス博士の一方ならぬ同情に浴したる女は新町遊廓元藤方抱娼妓小波こと東京府下荏原郡大森町二千七百八十番地高田ちか（三三）にして女は去明治四十五年以來新町に娼妓稼業を爲し居たる者なるがハリス博士の熱烈なる愛に感動し新町遊廓組合にて女の借金全部を引受け去十日女は旭町二丁目日本基督教會牧師宅に引取られ廿二日午前八時五十分南大門驛發列車にて歸國し東京大久保慈愛館に入る筈なり小波身請の一條は別項山縣先生の『我失ひたる羊を獲たり』の文章に詳しく記載しあり

□我失ひし羊を獲たり
山縣生

『我と共に喜べ、我失ひし羊を獲たれば也』今此文を書かんとするに當り、余の心は喜びと感謝とに滿つ何となれば余も亦失ひし羊を獲たるの感があるからである。

曩に余は我尊信するハリス先生が淪落の婦人を救はんが爲めに、名譽を賭して足を新町に入れられし次第を書いた。余が彼の文を書きたる主なる目的は世道人心の爲め世の誤解を除き、人の疑惑を解かんとするに在りて、先生の救はんとせられたる婦人の救濟は志す所でなかつた。然るに圖らずも彼の文は意外の反響を意外の處に起し、其結果として彼の憐れなる婦人は解放され、苦界を脱して、新しき生涯に入ることゝなつた。これにつきては語らねばならぬ美談がある。

彼の文の現はるゝと共に、如何にしても彼女を救ひ出し、先生の志を遂げねばならぬと感じたるはメソヂスト教會の人々である。先生を尊信する此等の人々は今更ながら先生の高徳に感激し、直に集會を開きて此問題につき相談する所があつた。其結果として、各々應分の寄附金を爲し、之を以て彼女を身請けして、然る後、徐に其將來につき圖る所あらんといふに相談が一決した。中には獨力にて彼女を身請けせんと申し出たる篤志家もあつたそうで、我れ劣らじと寄附金を申込み忽ちこれに要する金額に達した。

然るに一方に於て新町の各樓主は彼の文によりて始めて事の顛末を承知すると共に、亦深くハリス先生の徳に感激して、何をか爲す所ありて其志を表せざるべからずとの意が動いた。中にも新町組合の取締たる安川伊吉氏を始め、評議員諸氏は其感強く、如何なる事を爲すべきかに就て相談中なりし際、内地に旅行中なりし第一樓の主人赤狄與三郎氏は釜山停車場に於て、彼の文を讀みて亦深く感激し、何をか爲さねばならぬとの決心を以て歸來した。斯くの如くにして新町の指導者たる人々のうちには期せずして、ハリス先生に對する其尊敬渴仰の意を表せんと欲するの意志が動いて居たことゝて赤狄氏の歸り來ると共に、組合の金を以て彼女を請出し、之を解放して先生の志を遂げやうといふ事に相談がわけもなく纏つた。

斯くてメソヂスト教會より彼女を身請けせんとの申込みある迄もなく新町の指導者は斯くの如き美はしき心を以て、教會の人々に報ふたのである。其義俠なる精神は實に見上げたもので、余はこゝに謹みて此等の人々に脱帽し、敬意を表する者である。蓋し斯の如き義俠なる精神は所謂紳士なる人々のうちに存する事稀に、却て斯の如き人々によりて發揮せらるゝ場合が多いのである。

前述の次第で、彼女は所三日前メソヂスト教會へ引き取られ、不日東上して大久保に於ける婦人矯風會の慈愛館に入り、こゝに新なる清き生涯に入る筈である。彼女が今日此思ひ掛けなき幸福を得たるはハリス先生の餘恵に依るは言ふ迄もなけれど、一は新町の人々の義俠とメソヂスト教會其他隱れたる彼女の友人の同情の賜物であるは言ふ迄もない。彼女を救ふに與りて力ありし人々、殊に新町の人々は彼女が全く生れ返りて、總ての點に於て立派なる婦人と成り、以てハリス先生の志に報ゆる所あることを切に祈つて居る。余も關係者の一人として其願を熱烈に願つ者である。願はくば彼女の前途に光明と幸福とあれ。

失ひし小羊は斯の如くにして獲られた。此上に書くべき事もなけれど若しも猶ほハリス先生の新町を訪はれたる事につき疑惑を抱く人ありしならば、其人々は今や全く其疑惑を解き得たるならん。若しも先生にして少しにても後暗き行ありしならば新町の人々が斯の如く感激して、彼の如き義俠の行動に出づる事はなかつたであらう。

先生が此件につきて余に與へられたる書翰數通に及ぶ。これ等を通じて一貫するは不幸可憐なる苦界の少女を救はんと欲する熱烈なる精神である。曰く、自分の一生は若き男女を罪惡より救はんが爲めの戰闘であつた。自分の志は神知り給ふ、何の惧るゝ所かあらんと。又曰く、自分の名譽の如きは請ふ之を介心する勿れ、自分は疾くに肉慾の慾より脱出し得たり、失はれし者を救はんが爲めには今後と雖も如何なる危地にも臨まんと。斯の如き明白なる告白は光明正大俯仰天地に耻ざるの心を有てる人にして始めて言ひ得る所である。

或人は先生が新町を訪はれし行動を以て智慮足らず、不謹愼なりしと言つた。余は斯の如き人に對して曰はんと思ふ、義勇の行ひが熟慮の後に出し卿やあると。人の溺れんとするを見たる時、直に其身を水に投じて之を救はんとする義勇者は自己の危險を顧慮する事はない。我ハリス先生は救ひを求むる聲を聞くの時、何者をも捨てゝ直に之に走るの義勇者で、先生の人格の崇高なる所以亦こゝに在り。自己の安危を顧み、利害を打算する人は遂に何事をも爲し得ざらん。今の世智者は多くあり。身を殺して仁を爲す人、何ぞそれ少きや。

嗚呼徳孤ならず、必ず隣あり。想ふに、余がハリス先生の爲めに書いた愚文が媒介となりて、新町の人々の義俠の精神により、一の憐れなる婦人が光明の途に入るを得たるは何たる幸ぞや。こゝに總てこれに關係したる人々に對し滿腔の感謝を表し、大なる喜悦を以て筆を擱く。

不良少年

鹿兒島市鹽屋町生れ住所不定の川邊俊雄（一五）は掏摸手癖惡しく既に二三回警察署の厄介になりたる曲者なるが八月十七日午後三時頃京城南山町京城神社境內天滿宮備付けの賽錢箱より一錢五厘取り出したる際發見されて本町署に突き出さる

●同情金 林雄川男爵長一家へ共投▲金三圓［illegible］▲金二圓安城邑內［illegible］▲金一圓五十錢龍山元町某▲（累計十二圓五十錢）物品六點

靈山を望みて（上）
鮮人のもらし「龍王寺見聞記」（四）
秦驛星

鐘樓より打出す朝の鐘に、短かい夏の夢を覺まして見ると、一晩中小歇みもなく、盆を覆がへす樣に降り續いてゐた昨夜の雨も今日はカラリと晴れて、清々しい朝の空には一點の雲もなく、勢ひよく上つて來る朝陽は寺後に聳へてゐる雪嶽山の峯なに赤い光りを浴びせ掛ける。寺後の楢は喜びに慄へ、溢れ出づる樣な涼しい蟬の聲は山や谷に鳴き渡る。私は手拭を肩に掛て顏を洗ひに谷間に下りて往つた。清い谷水は水晶の樣に透き通つて淀に、小魚等は水に浸してある私の手を恐れもしないで、何か餌でもあるかの樣にこつん〳〵とつゝつく。私は冷い氷の樣な冷たい水を手に掬つて顏や頭を洗へば、色々な煩惱に苦しめられてゐた私の心の惱みまでも綺麗に洗ひ去られた樣な氣がして、贅に何とも云はれぬ晴々しい氣分になる。私はかういふ貴い氣分を傷づけてはならないと思つて室に歸つて午前中は靜かに瞑想に耽つてゐた。

午を過ぎて、私は本寺より約十丁ばかり離れて山上にある內院庵といふ禪堂を尋ねて山に登る。桔梗や蓬の花の咲きまじつた草と草との間には、うねり〳〵ねつた山路が縷く開かれてあつて、清い流れの岩蔭には、ところ〴〵に、一莖二莖と、隱れた鬼百合が淋しく咲き切つてゐる。私は汗を流し〳〵ながら上つてゆくと、入口には大きな槐樹の枝が茂つてゐて、その後に、大きな山を背にした、小奇麗な禪堂が靜かに立つてゐる。階段を上つて見ると、可なり廣い、油紙敷きの溫突はガラスの樣に磨かれてある。そしてその眞中には佛像が祟められてあつて、その周りには老僧が三四人目を瞑つて靜かに坐つてゐる。私は何とも云はれぬ靜肅な感じに打たれて暫らくウツトリした。私は老僧とともに靜かに語る事二三時間にして別れを告げて山を降りやうと思ふと、一人の僧が「見晴らしの好いところがあるから案內しませう」と云つて出て來る。

金牌受領
男女頭髮用 本椿香油 本椿ポマード
本舖 大阪西横堀 三宅堂

商況

債券現物特電（二十一日東京）
二十一日出來値 東京市五分利 七八、五〇／京釜 一五七、〇〇／朝鮮銀行 一五〇、八〇／朝鮮興業 一一〇、〇〇／南滿鐵道 四六、〇〇

公債直取引（東京特電）
二十一日出來値 甲號五分利 九六、七〇／四分利 八一、六〇

東京期米特電
二十二日前場 十月限 二一、八五／十一月限 二一、八五／十二月限 二一、三四／一月限 二一、四〇

大阪三品特電
二十二日前場 八月限 三五四、〇五／九月限 三五九、九〇／十月限 三五八、五〇／十一月限 三五七、五〇／十二月限 三五八、五〇／一月限 三五八、四五

大阪期米特電
［illegible］

下關期米特電
二十二日前場 二一、七九／二一、二五／二一、二七（小雨陰頗氣鬱め）

雜報

●銀二分の一片高 去る十七日四十四片に昂騰せる倫敦銀塊は更に二分の一片方昂騰せる由二十一日鮮銀入電あり

●露貨小緩み 二十一日給附 資に於ける露貨は鮮銀投賣二百六十九留を報じ前日來の保合値より五留方下落せり

●生糸相場暴落 ［illegible］

●綿糸三百圓說 ［illegible］

二十一日の入電 千五百圓丁度 ［illegible］

眼先尙一段安模樣 ［illegible］ 鮮內繭取引 ［illegible］ 警戒の姿

臺一段の氣崩れ免れず 各期五十圓更 ［illegible］

不振米棉調節問題 殊に最近支那方面の ［illegible］

●平板更に高模樣 或は三百圓の關門打破するに至らんか ［illegible］

●漸次に騰寄せ的の値上り 三十番の五圓丁度を實現すべく ［illegible］

●鴨江材出廻不足 內外の推算二十萬尺 其影響一層甚しく此割安品の需用激增 ［illegible］

●金巾頻混沌 ［illegible］

●洋蠟値上げ 斤物二十三錢 十二錢にて一斤に付一錢方の引上げ ［illegible］

●洋傘高見越 更に四割高迄唱へ 跡高見越し ［illegible］

●木羽板の賣行 ［illegible］

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ナ 仲買店 電話長九〇五番 八三二番

京城正米
［illegible］

南大門の廻穀
島山白米二六〇叺／南川大麥四二〇叺／島山白米七九叺／島山白米四三〇叺／平澤白米四〇叺／平澤小麥三九〇叺／天安玄米三九叺／京城白米八三叺／南川小麥三九叺／平澤白米六六叺／新萊小麥三九叺／西井里白米五九叺／沙里院小麥四一叺／平澤粟二三七叺／水原白米四〇叺／平澤粟七四叺／平澤白米七四叺

市場雲聞
▲瓦落下澁る ［illegible］

仁川期米
二十二日前場（瓦落）
小雨前寄廿七錢と昨止十錢高の入電 ［illegible］ 二十一圓九十八錢と暴落臨時入電に投げに新規に賣物多く大阪五節二十一圓先五十錢と更に大々的暴落臨時入電に接し大阪七節六十一錢と八節六十九錢と跳ね返し ［illegible］

仁川米豆取引所仲買人 ◇仲買店 電話一五八番 自宅電話七二〇番

仁川米豆取引所 二十二日の十月限
寄付	二十九圓四十一錢
止め値	二十九圓二十二錢
高値	二十九圓四十七錢
安値	二十九圓五十一錢
出來高	六萬九千六百五十石

前場平均値段
［illegible］

白米標準値
二十三圓五十錢

小賣白米
現金賣 一等白米 二十四錢五厘 ／次白 二十四錢

生魚市場
▲釜山水產市場（二十一日）▲入船數 二十四隻 ［illegible］

釜山穀物（廿一日）
［illegible］

▲大に下澁る ［illegible］ 遂に二百丁內外迄縮少 ［illegible］

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ㋑ 今村覺次郎 電話三六番

▲大阪の大暴落に比し案外下澁り 二百四十七丁こ迄縮少 ▲大激戰商盛 ▲俄然暴落す 及來客筋大に賣向ひ地方筋正米筋 ［illegible］

▲絕好の買場 向ひ利喰の續出相場の下澁り ［illegible］

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 大五仲買店 店主 猪飼政太郎 電話三〇九番 長九三番

◆人夫を使つて鐵道を窃取す 人夫四名を使役して京城南山町子取締 ［illegible］

◆警戒（八月廿二日午前十時）南北道、慶尙南北道沿岸の ［illegible］

●懸賞課題募集規定 ［illegible］

天氣は 晴れ時々曇り

◎支那將軍に化けた邦人

◆江蘇護國軍參謀長 陸軍少將闘義軍と云ふ名刺を携へて東京で活動中捕はる◆

支那將軍闘義軍こと
詐稱せる日本人某（支那護國軍少將闘義軍）

日本に於ける兵器製造視察の官命を帶びて出張せりと稱し八月上旬大阪兵器製造會社西納理事其他の有力者間を訪問し大歡迎を受け更に東京に乘込みたる支那江蘇護國軍參謀長陸軍少將闘義軍は過日東京に於て全く支那將軍に化けたる

▽日本人なる事發覺して其筋に檢擧されたりとの事なるが彼の化け少將は昨冬北京に現はれ江蘇護國軍參謀長陸軍少將闘義軍と大書したる名刺を振り撒き護國軍解散費六萬圓受領の爲めに來れりと稱し江蘇護國軍司令官柳曼青方に寄寓し今日は黎總統と會見したり明日は段總理と會食する筈なりなど、言ふらし

▽毎日自動車を飛し何事をか畫策しつゝありしが司令官を稱する柳曼青は今年三月突然京師警察廳に捕へられしが彼は其後東安飯店に宿泊し居り柳曼青の親友なる彼の有名なる獨探陸軍中將錢錫霖と頻に往復し居たるが其後獨支國交斷絶に伴ひ獨逸人が腕を振ふ餘地なく從つて

▽錢錫霖一派の計畫も一時挫折せり彼等は更に天照公司なるものを組織し日本より兵器の輸入を企てたるが闘義軍は日本語に巧みなるを以て同公司中に重きを爲し居たり一方大阪兵器製造會社の販路を支那に開く計畫にて西納理事北京に出張し支那總代理店を設立する事となりしが此の際も日本語に巧みなる闘義軍少將は大阪兵器會社と天照公司との中間に立ちて斡旋する處あり

▽兩者の取引契約も整ひ猶北京政府は錢中將及び何少將を派して兵器製造視察を爲さしめる筈であつたが錢は獨探なる事發覺して入獄し其の一時中止されしが闘義軍は自から支那特派兵器製造視察員と稱し前記の如く大阪に入り大阪兵器會社其他の歡迎を受け更に東京に赴き活動中途に其の日本人なる事を觀破せられ捕縛せられたりと

◎百花燎爛の美術院展覽會

例年の通り九月一日から開會　製作に餘念の無い院友畫家連

我國美術の魁をする美術院の展覽會は例年の通り九月一日から開會されるが同院友連は皆夫々に出品の爲め此頃の暑さにも怯げず

▽孜々として製作に餘念が無い今聞き得た所此秋に院展で花を咲かさうとして居る中で最も努力をして居るのは先づ頭梁株の横山大觀氏で既に三月も以前から準備にかゝり既に六曲屏風が二双出來上つてゐる、一點は金地の極彩色で在來大觀氏が描いた事の無い構圖だとの事で京都方面へ二度旅行したのも

▽此材料寫生の爲であつた元來速筆な氏が之を完成するに下圖を附始めてから二箇月も要つたと云ふだけで其苦心の程も知れやう何でも大觀氏が出世作『木曲の秋』以來の絢爛を極めたもので氏自身も出來榮は兎も角態度に努力した事は近年に覺ねてゐないと人に語つたさうである

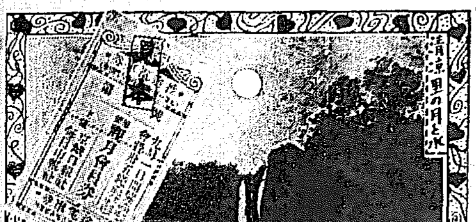
▽他の一點は寒窓に水墨で『琵琶湖』を描いたもので此方は大いに洒脱輕妙な筆腕を發揮して居るに外に未だ繪卷物一卷を出品する筈で之も琵琶湖の風景を即興的に描いた大作である、下村觀山氏は目下所在不明、何しろ生れてから數へる程しか手紙を書いた事の無いと云ふ無頓着な人だから例の如く

▽開期間際になつてから大作を持つて來るだらうと同人は安心してゐる、大磯に住む安田靫彦氏も出品不明であるか近來頗る元氣で騎も丸々と肥つて居るから其元氣な所を發揮したもの一點位は出すかも知れぬと會つて來た人の話である去年間に合はなかつた小林古徑氏の『竹取物語』繪卷は今年も繼續事業として幾枚も書き直し苦心推敲して十三枚の中五枚は出品出來やうか

▽最後の一枚は廿六人の天女が升舞して居る美しいもので之も勿論今年の書入れ物である、前田青邨氏も藤澤の宅に籠つて筆を執つて居るが三尺巾の雙幅物だと云ふ山村耕花氏は二曲屏風一双に驪驥を描いて居る用布は麻のカンバス樣の布地で之に金砂子を撒かうと云ふ變つた試みで和蘭繪だの波斯印度模樣の研究中である、ガラス繪のやうな感じが出したいと云ふのが目的である

▽貴重な書籍を取寄せてさうで何餘日があればお國と山左衞門以來久しく見せなかつた美人繪を書くと云ふ又新同人大阪の北野恒富氏は場所柄だけに淀君を主題として描いて居るし今秋の新同人を以て期待されて居る川端龍子氏は『中禪寺繚起』繪卷に筆を染てゐる、以上は

▽日本畫に於ける概觀であるが洋畫に於ける小杉未醒氏の神話鑑畫、彫塑に於ける藤井浩祐氏の裸肉彫『歡樂』は既に完成されてゐるもの、中の代表的作品である、愈々開會されたら百花燎爛の觀があらう



觀月會切符發賣

電話配達　市内取次販賣所

觀月會員切符は明廿三日より發賣販賣す、汽車電車賃共大人券金廿五錢、十二才未滿の子供券廿錢（五才以下お斷り）三枚以上御希望の方は京城日報社構内電話一二又は二二（究電話にて御申込みあれば直ちに配達致升）

觀月會切符取次販賣方の承諾を得ましたる左記市内知名の日鮮商店に御申込みあれば入場券の御便宜を圖り升

本町二 町田商店	本町二 日韓書房	南大門通 朝鮮新報社	南大門通 大元商店
本町二 大阪屋	本町二 ウツボ屋	黄金町二 日本商店	南大門通 金永斗商店
本町二 松屋	本町四 丸山商店	黄金町二 喜多金光堂	
櫻井町角 安本商店	本町二 日之出商店	明治町 吉本商店	
明治町 瀧川商店	永樂町 橋本商店	古市町 町田新聞店	
黄金町二 茨木商店	新町 野田商店	鍾路 盛文堂	
太平通二 盛文堂	鍾路二 趙明鎬	鍾路三 井上製藥所	
蓬萊町一 新川商店	鍾路三 和平堂	西大門	
南大門通 信行商會	鍾路 廣學書舖		
南大門通 博文書館	大安洞 大昌商店		
西大門外 濟衆局			

◎暴民木材を強奪す

去る七月中旬出水の際採木公司鴨緑江分局にて收拾せる漂流木中外國溝上流の分は約二十萬尺にて殆んど編筏を了へ兩三日より流下せんとする折柄突如帽兒山管内の暴徒百餘名押し寄せ木材を强奪し流下を阻止する等暴行至らざるなく事態重大ならんとせるに就き支那官憲は首謀者三十餘名を召致し目下鎮撫中なり（安東縣特電）

◎大邱モヒ患者

檢擧と施療も絶滅

大邱には鮮人男女のモルヒネ中毒患者が多く而も日を逐ふて其の數の增加は著しき速力を示して居る又此恐るべきモルヒネ中毒は不良少年に最も多數を占めて居る傾きがある。即ち彼等不良少年輩は己がモヒ注射の資に盜きたる時富豪乃至兩班の息子等を巧言もて勸誘し或は藥を買ひ與へんなど、稱し受取りたる金の幾分を己が注射の資に充つるもの亦尠しとせず

▲斯くして次第にモヒ患者の增加著しきものあるより大邱警察署に於ては數年來該患者の取締を嚴重にし屢々之れが檢擧を行ひ臨時收容所を設けて治療しつゝあり最近に於ては去る十七日夜大邱警察署長葛城最太郎氏は巡查補の非常召集をなしモヒ患者十七名を檢擧し昨年虎疫發生の際南山町避病院附近に假設したる病舍に收容し慈惠病院より施療し尚今後時々如上の檢擧を行ふ筈なるが之れが費用として鮮人富豪乃至兩班等より全二百圓の寄附を申出で該收容所存置期間内引續き施療費を寄附すべき由

▲更に大邱警察署に於ては此の外市内の開業醫にしてモヒ注射治療の申込を受けたる際は患者の氏名及び住所を届出でしむるのみならず絶對にモヒ注射の施療に應ぜざるべく特に申合めたるが如し、大邱警察署は斯くしてモヒ中毒患者の絶滅を圖るそうである

濤の砂

■大將の狂言自殺　門司市西川端町二丁目…（三二）は夫の留守中…と關係し監禁されたので十八日夜中毒の爲め毒藥を飲む狂言自殺

■開墾を一刺し　…の大工…（二四）は十五日…の勢で北海道夕張炭坑で仲間の野崎吉（二〇）を庖丁で刺して即死せしめた

■强力な女房　大阪府豐能市野田村生れの平岡傷次郎（三六）は八月一日夜北野島村西岡龍之助方に押入つて衣類を强奪し逃走中を龍之助妻ふくに組みつかれ互に大格鬪の所に警官が馳けつけて難なく賊を逮捕した

■亡靈が恐さに　高知縣香美郡吉川村生れの島内藤吉（二〇）は岡山縣神上市生れの谷寅雄（二八）と共に去る四月十日兵庫縣武庫郡正木村で寅雄の情婦愛子（二五）を絞殺し所持金を强奪した上金の…十數枚を拔き取らうとして果さず北海道に高飛びして炭坑夫となつて居たが愛子の亡靈に祟られて自首したさうな

■弱虫の兄弟賊　東京府下大井町…吉（二八）弟…（二四）の兄弟は八月十三日夜同町郡會議員櫻井嘉七郎方を襲ふた際誤つて强刀を以て家人に創を負はされ品川署の手に捕まつた

■一家三十三名　鹿兒島縣鹿兒島郡谷山村農山崎次郎左衞門（七三）一家は妻もと（七〇）以下子孫が六夫婦男が十九人女が十四人合計三十三人の一大家族だが家長次郎左衞門の總指揮長男が農事經營次弟が會計主任と云つた形で一家圓滿に納まり家は益々繁榮しつゝありと

◎岡本齒科醫院の開業　岡本亮作氏は明治四十年東京齒科醫學專門學校卒業後勤務後郷里山口縣山口に開業山口齒科醫會幹事…大正三年總督府醫院勤務…今回京城本町一丁目に獨立開業し一般患者の診療に應ずべしと

◎神理敎會所（南山町三丁目）月次祭典は來る二十二日午後八時半より祭典執行式後講演あり

日の日の新

▲美味しい燒饅頭　材料は豚肉四十匁、日本麩…、メリケン粉百五十匁、玉子…、生姜、胡椒…（胡麻油でもよし）

先づ四十匁の豚肉を細かく刻み擂鉢に入れて擂り生姜の微塵に刻んだもの及び玉子半分を加へ鹽と胡椒で味をつけます之は饅頭の餡にします次にメリケン粉百五十匁に水を少しづゝ加へて固く錬り餡の殘りの卵も入れて捏ね一分位の厚さに延ばし錬け薬罐の蓋程のもので型をくりぬき其中に前の肉餡を入れ柏餅の様に折り合せバタ又は胡麻油を小鍋に煮立てたフライ鍋の中に入れ裏返し〳〵兩面が狐色に揚げる位に焼きましたから熱湯を饅頭の上に少しかけて云ふ位に掛け其儘鍋に蓋をして暫時火にかけてから取り出し温いのを食べます

演藝案内

黄金館　電話二三六六、二三六七　天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店　八月十八日より引續き特別大興行　教訓立志美談「原多助一代記」全五卷……

大正館　電話八七三　櫻井町　十八日より特別提供の大寫眞　第二回ニコ〜大會……

有樂館　電話（旭ノ上）五九七番（夜ノ下）二〇五番　早川演藝部直營　活動寫眞常設館……

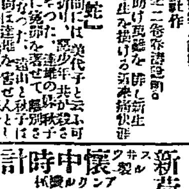
浪花館　電話二六〇　明治町　大阪親友派浪花節……今回に限り平素の御愛顧御禮として入場料は破天荒…金五錢均一

壽座　京城壽町　電話五七八番　女流浪界の花形前田八重子一行……

皮膚病 花柳病 專門（注射 手術）　京城太平通二丁目（電話二二五八番）　岡山醫學士　扇田醫院　扇田豊

新荷著　懷中時計　スヰス製　……

本店　京城本町二丁目　電話九七二番　イングレツシー商會　時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國雜貨直輸入商



寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版……　京城日報社寫眞製版部

◎社員募集（日鮮人）　▲希望者は各地所在事務所へ來談　朝鮮台灣中國九州　明治公債株式會社營業本部　釜山谷町二（電話七七七番）

期米　曽我商店

材木大發賣廣告　數百年來蔵長せる本道著名の海州郡羅德面所在羅時山立木全部を買收し目下盛に伐採し左記用材を最も廉價に發賣致候間御希望者は現物御熟覽の上多少に不係御用命の程伏て希望致候　木材種類　松木、眞木、槐木、栗木、柯木、雜木　黄海道海州南幸町二一四番地　八月十五日　河成龍告白

告在鄉軍人　今二十三日午前八時四十分松川軍司令官閣下龍山停車場に著せられ候に付き出迎相成度候也　在鄉軍人會京城分會

急告　本誓寺（西本願寺）　弊院事八月十日出火全燒の厄に遭ひ御預り申候御遺骨混同仕候段誠に申譯無之候に付御遺骨御預け申上候方は來る九月十五日までに住所氏名を御報知相成度右追て本堂建立し奉安仕り度候間右紙上を以て御依賴申上候　京城山元町二丁目

急告　謹啓時下各位益々御清祥の段奉大賀候陳者弊所製品各種石鹼の儀原料昂騰の結果今回止むを得ず一割値上の事に決定仕候間御諒承の上倍舊の御用命を賜り度候…　大正六年八月　京城　朝日石鹼製造所　電話九七三、二五六四番　振替京城四〇〇番

平壤 合資會社京谷商店製造耐火煉瓦　耐火煉瓦　右販賣代理引受候間多少に不拘御注文願上候　京城旭町一丁目（電話九五五番）　白上商店

梅毒有無診斷液　エルチン

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潜伏して身体の衰弱せる時に脳神經、内臓眼球、骨等總ての臓器に種々の病症となりて現るるものなり……其外部へ現れしものは治療に便なれども潜伏、遺傳、其他内臓に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲遂に適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潜伏の如何を問はれず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就て「ルエチン」の注射を試みられよ其有無直に判明して疑問は速に解決すべし……本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワッセルマン氏の反應より遥に鋭敏確實且つ簡易なる注射を以て殆と百%に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり……

說明書あり申込第次送程す

發賣元 星製藥株式會社　東京京橋區南傳馬町三　大阪東區淡路町三　朝鮮代理店 小西喜兵衛

內科 小兒科　入院隨意（普通病室 隔離病室）　京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る）電話三七八番　中島醫院　院主 中島貞信

醇良無双清酒

無害衛生　品質無双

釀造元　福岡縣城島町　首藤合名會社　發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　長電話一一七一番　釜山幸町　首藤釜山支店　長電話三四三番

開業

今般朝鮮總督府醫員兼京城醫學專門學校助教授を辭し左記へ開業仕候

京城本町一丁目（江戸川横）　岡本齒科醫院　齒科醫 岡本亮作

左甚五郎

第五席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

内匠は甚右衞門に對ひ　内『俺が甚五郎を少し見込んだ處があるが、俺の稼業に爲なさるといふなら一ツ面倒を見やうと思ふ　甚『親方さん何うか一ッ願ひます、棟梁樣の稼業になりますれば結構でございます、百姓業を嫌ふた處が棟梁の樣な譯には行きませんから　内『當人に能く聞いて見てくれ、此方で何う云ふ思つたつて當人が氣に叶らなければ何にもならねえ　甚右『早速尋ねましてお願ひに出ますから、何うぞお願ひ申します

甚右衞門は立歸りましたが、程なく又連つて參りました　甚右『イヤ親方さん、洵に御親切樣に有難うございました、倅に聞きましたら棟梁樣の稼業になりたいといふので、何うぞ一ッ願ひます　内『じやア俺にきア預けて置け、何とか丹精しよう』見立ては見立といふ例へ、例へ僅な面を見ても何處か三代目内匠の見込んだ所があると見まして、年齢十二才の甚五郎を自分の弟子といたしました、段々丹精をして見ると何うも能く覺える、同じ小僧でも何處か行きかたが變つて居る、師匠さん／＼と云つて洵によく勤めます、上手と云つた所が澤山ないもので、名人は猶更、名人は上手の上を一と飛り、何うも性質といふものか、仕事にかゝると何をさせても器用なことをする、内匠も感心して居る、何か人がして居るのでも熟と見て居る、油斷といふものが少しもない、他の小僧と遊びまして甚麼に暇があつても遊んで居ない、鑿を持つとか鉋を持つとか釘金槌なぞを持つて何か遣つて居る、夜分になりまして内匠が晩酒に一杯やらうといふ、他の小僧はもう寢る前は一とツきり、勝手な眞似をして遊んで居る、甚五郎は内匠の前へ來てお酌でもするか、女房のする用まで自分に出來ることはまめ／＼しく働いて能く勤める、師匠の側で小用を達して睡さうな顔もしないで種々な話しを聞く　甚『師匠さん是は何ういふ理由のもんです』と訊ねるから内匠もそれは恁うだあれは恁うしなければ叶けぬ、と毎時でも話しと云へば仕事のことより外はしない、内匠も夏期から止せとも云はないで能く敎へて遣る、同じ弟子でも何處か行きかたが異つて居る、末頼母しいものだと可愛がつて種々なことを話して聞かせる、又當人の方でも師匠を惡く大切にする、是は内匠と甚五郎に限つた譯ではございません、主人といふものは大切なもの、親子の情といふものは恁ういふもの、恁ういふ譯のもの、師弟と際がつた間は恁ういふ譯、何うも親子の情、夫婦の情、主從主弟、何でも物は順になるといふものは親に對して孝行なもの、師に對して忠義なもの、何うしても昔通では物の順になれない、何うせ親に孝行の者でなければ忠義な人はありません、師に對して忠義な人なら友達にも信義が篤い、流石は名人と云はれる者ですから幼年の頃より他に行き方も異つて居ります、早い話しが酒を飲む相手をして居て尋ねるのに　甚『師匠さん此の墨壺は何ういふ按排に拵へてゆきますのか此處は何です、此の竹の箆は何ういふことにしますか』鳥渡したことでも尋ねられると答へに差支へるのがいくらもある、其の職に居て其の職を知らないといふのは詰らない譯ですが、立派な職人で知らないのもある、自分が遣つて居ることを知らねなぞとそんな間抜けなことはなさゝうなものですが、我々のやうな拙ないことをいたして居りまして何うかするとお客樣が先生とか何とか御仰る　○先生講談『ハイ』○『此の講談といふことを俺は詳しいことを知らないが、全體何ういふ所が始まりだね』講『ヘイ』と挨拶に困る、それでも猶且講談師……其の職に居て其の職の濫觴を知らんといふのが幾らもあります

京城府明治町二ノ三二（元貨業會社跡）
花柳病 皮膚病　須古醫院　電話二一〇二番

八月廿四日九星
舊七月六日戊戌
本命五黄 八方塞先勝

[illegible]

ほまれ味噌
日本醤油株式會社 出張所 電話二四五番

汽車
[illegible]

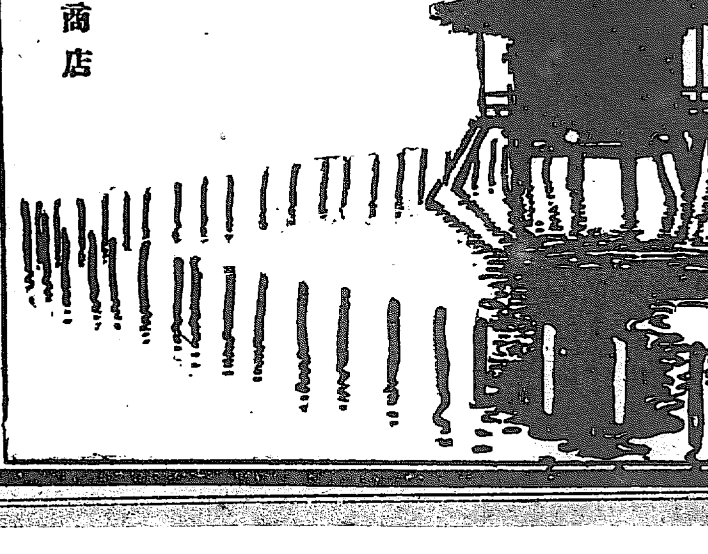
寄附者氏名金額（第八回）

[illegible]

（終了）

▲書籍御案内▼
民友社發行　女義士傳　定價五〇 郵税八
村上浪六後編　稲田一作傳　定價七〇 郵税八
桃川如燕　名婦傳 六冊 各定價五〇 郵税八
早川貞水　赤穂義士傳
松林伯知 桃川如燕　御前講談
京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

日焼せず＝（脂肪を去る）＝
附けて清洒と美くしくなる上
◆毛穴迄開いて血色を鮮かに氣持をよくす
◆白粉乘をよくし自由自在に附けさせます
◆浴後の只一滴はお肌をサラリと致します
素肌の色艶をよくする
レート乳白化粧水
日本で初めて乳白美劑を完成した
東京 平尾賛平商店



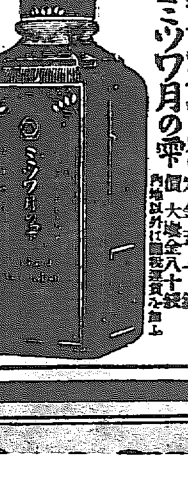
MITSUWA HAIR LOTION.

Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will at once notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.
Price 50 Sen and 80 Sen.

頭髪用香水 ◎ミツワ月の雫

品質優秀にして毛髪の衞生に適せるミツワ石鹸を以て毛髪を清洗せる後本品を用ふれば、温雅なる芳香を放ち、自ら爽快の感を得、毛髪の發育を助け營養を良くし、毫も之を害ふことなく、其色澤を艶麗ならしめ、脱毛及雲脂の過剰を防ぐの効あり、要するに本品は毛髪の衞生に留意し、美髪を欲するものには、須臾も缺くべからざる完全の頭髪用香水なり。

○ミツワ月の雫　定價金五十錢 大壜金八十錢 内地以外は郵税運賃を申ふ
（現品縮寫圖）



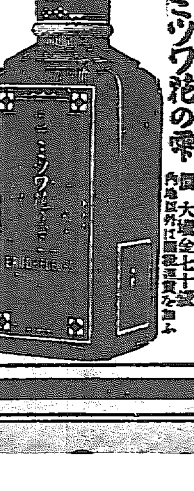
EAU DE FLEURS

made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion to your underwears, towels, handkerchieves, sheets or water when washing or bathing, will be charmful and quite refreshing.
Price 45 Sen and 70 Sen

肌着用香水 ◎ミツワ花の雫

在來の肌着用香水には、徒に强烈なる香氣を發し、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、本品は人を魅するが如き馥郁たる芳香を放ち、肌着手巾敷布其他に振掛くるも、毫も汚點を殘す憂ひなく、又洗面盥浴槽等に用ふれば、能く清爽の感を齎らすこと、他に之に比すべきものなし。實に本品は各家庭に常備すべき理想的優良なる香水なり。

○ミツワ花の雫　定價金四拾五錢 大壜金七十錢 内地以外は郵税運賃を申ふ
（現品縮寫圖）



MITSUWA SKIN TONIC.

Mitsuwa Yukino Shizuku (Eau de neige) is of supreme value in the care of the skin. It cleanses the pores, brings the blood to the surface, stimulates the small muscular fibres and preserves the tender, delicate skin. It makes you more beautiful—more attractive—more charming.
Price 30 Sen.

芳香健膚劑 ◎ミツワ雪の雫

本劑は皮脂を除き、硬化せる皮膚を柔軟滑澤ならしめ、肌理を細かにし、皮膚の血行を進めて其色を艶麗ならしめ、健全なる皮膚の新生を促すが故に、之を常用すれば、皮膚を强健清潔になし其眞美を發揮せしめ、皮膚乾燥、龜裂、皸裂、凍傷、疵瘡、白癬、火傷等に奏効し、又白粉下に用ふれば、のりのびを良くし、生彩ある化粧を施すに好適のものなり。

○ミツワ雪の雫　定價金三十錢 内地以外は郵税運賃を申ふ
（現品縮寫圖）

保管安全
まつちや
明治町二丁目八十七番地
南質店

山梨藥學博士、慶松藥學博士、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士、加藤陸軍醫學博士證明、田中醫學博士、山田陸軍醫學博士實驗の結果理想的内服淋病治療劑と確定せる
淋病新藥 ツヨール
◉到處藥舖に販賣　發賣元東京 ツヨール商會　全國一手販賣 大阪道修町三丁目 田邊五兵衞
▲本品は殺菌力を有し且つ絶對に胃腸を害せず
▲膀胱カタル、尿道炎、副睾丸炎、淋毒性其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す
▲説明書無料贈呈す

第三版

京城日報

八月二十三日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局 二一二番 營業局 [illegible] 振替貯金口座 京城 二〇〇番

ハリマンの雄圖

▲世界一周路 開設の計畫
▲滿洲鐵道 買收の運動

添田

◎覺書無効に歸す

ハリマン、桂協定は前述の事情の爲めに、其の進行を見合はすより外に致方はないと云ふ事になつた。而して小村男は、日清滿洲善後協商の爲めに、十一月六日北京に向け出發した。此交渉は一箇月以上の日子を費やした。

〔添田氏より電報到る〕

一方ハリマン氏は歸米後、問題の成行については、何の消息もないので如何なつたのかと案じて居るうち、其年も暮れて、千九百六年は一月十五日に、初めて興銀總裁添田壽一氏から左の意味の長文の電信を受けた

『紐育イー、エチ、ハリマン氏宛』千九百六年一月十五日東京發 小村男爵は一月一日歸朝せり、而して新内閣は七日に組織せられたり。予は事の成行を貴下に報ずるの必要を説きつゝありき、而して今貴下に打電せんことを求めらる。桂伯は予に囑するに、假令ポーツマウス條約に規定されたる如き支那の承諾を得るにしても、滿洲鐵道は、日支兩國人に限る株主を以て、且つ最初露西亞に與へられたる特許條件に準據して組織せられたる會社に依りて經營せらるべきを規定するの已むを得ざりし事を貴下に通知せむ事を以てせり。伯は、上記の事情なるが故に、千九百五年十月十二日の覺書を基礎として、如何なる措置を施す事も、明かに不可能なるが故に、彼の覺書を無効視せられむ事を貴下に乞ふの已むを得ざるに至れるを衷心遺憾とする旨を傳達する樣、予に依囑したり。併し伯は、日本と支那との資本のみを以てして、滿洲鐵道の必要なる改良及び擴張の要望に副ふ爲め充分なりとするや、否やに就て、日本政府が疑問とせる事。從つて又、將來別個の關係に於て外國資本家と商議を開くを必要とする事情の生ぜし場合には、新たなる交渉は貴下に對して致さるべき事を附言したり。予は伯が總理大臣としての地位を退き、而して此電報は其後任者たる西園寺侯と協議の上發信するものなるを附言せんと欲す。 添田

千九百六年の春クーン、レーブ會社のヤコブ、シツフ氏が極東に來りし時、同氏は其の多年の親友にして且つ協力者たるハリマン氏よりの懇囑を受けて、日本著後彼の千九百五年の協定を復活せしむるに付き種々奔走した。然かし、小村男は依然として之に反對した。數次の會商を重ねたが、遂に此問題は再び蹉跌した。

〔第二の計畫〕

斯くて滿洲鐵道の完全なる支配權、或は一部的の支配權を得て、之を世界一周大幹線の重要なる連鎖たらしめんとするハリマンの計畫は、失敗に終り、段落を告げた。然れども、滿洲鐵道の司配に失敗した事が、彼れの雄大なる事業計畫の實行上に關する信念には些の動搖をも與へなかつた。一の失敗の後、は他の考案が捻れて居つた。即ち彼は計畫の一部を變更して、渤海灣頭の地方と西伯利亞鐵道との間の交通上空隙の地方を鐵路で連絡するの方法について考慮を回らした。併し乍ら、此の事の實行に就ても甚大なる困難が目前に横はつて居つた。蓋し、滿洲蒙古地方を通過する鐵道を新設するには、支那の承諾を經なければならぬのであるが、此頃は既に支那の利權回收熱が旺盛で、外國シンヂケートに對して鐵道建設の特許を與ふる事には極力反對するといふ場合であつた故、清國政府の承諾を得る事が先づ困難であつた。縱令又清國政府が之を許す意ありとするも、滿洲を通過する鐵道新線敷設については、清國政府自身のみが獨り勝手に處理する丈けの勢力を有して居なかつた。其の故は、清國政府は千九百五年十二月の條約に於て日本との間に『南滿洲鐵道に近接し並行するところの如何なる幹線鐵道たりとも之を敷設せざる事』を協定して居たのである。從つて清國政府としては、ハリマン氏の力に依りて渤海灣附近より東清鐵道の幹線迄新線の敷設せらるゝを喜ぶとするも、一存で之を如何ともなし得ないのである。若し右の如き線路を實現するとせば、夫は必然に『南滿洲鐵道に近接し而して並行するところの幹線』であるからである。

社會雜語（八十二）

□物價騰貴 一、

◎殘暑とは申し條、炎威富る可らざる太陽も彈著距離以外に遠退きたる如く、白楊樹頭涼風頻りに動き、叢間の蟲語は早くも秋を告げ候。苦熱を喞ち乍ら、喘ぎ々々だらしなき生活を送りつゝありし人間社會の氣分も、秋立つに伴れて徐々緊張し來り、男子は活動を思ひ、家婦は冬仕度を思ふ時候となり申候。折悧これより切々と稼がれば、貧乏は間もとまで追つ掛け來りつゝあり。

◎時世時節とは申乍ら、此の朝鮮も内地並に進行かずとも、隨分諸物價騰貴致し、生活難の聲は隨所、或は亭主連の排當會議に、或は妻君連の水道口評定に、到底話頭に上らざるなく、斯樣に諸式が騰りては、大抵の月給取りなどは閉口至極にて神聖なる家庭團欒の樂しみも剝奪せられむとす。

◎物價の變動は經濟界の大勢に因るものとせば、先づ致し方もなけれども、若し人爲的に奸商の狡策に出づるものあるに於ては、此際斷じて見遁す可らず。商人中には兎角所謂ボロイ事ばかりを考へ居る者ありて、少しく景氣か良くなれば徳義なんど更に念頭になく、狡策を專らにす。世間には不當に値段の騰れる物も尠からざるべし。記者等の机上には非々是等に關する苦情の投書參り居り候。

往來園雅集（二）

往來園雅筵次荷堂詩伯原韻以呈　東嶺　持地六三郎

生○平○景○慕○幾○經○年○　其○奈○山○河○遙○隔○天○　此○日○相○逢○情○似○舊○　他○時○追○想○夢○如○烟○　豪○懷○欹○筆○溯○秦○漢○　雅○量○銜○杯○希○聖○賢○　堪○羨○道○謠○詩○總○大○[illegible]

苦堂曰、情誼高深、句句自肺腑出、讀罷撫案不勝荷之至

苦堂詞伯歡迎雅筵席上次其原韻獻酬　久菴　朴齊斌

[illegible]

苦堂曰、[illegible]

次苦堂先生北遊原韻二首　荷亭　呂圭亨

[illegible]

苦堂先生歡迎雅筵次其原韻　初園　徐相勛

[illegible]

苦堂曰　心逍萬里、壺中一點、嚼盡今古、雁往復、槪無虛月。

寄荷亭先生　苦堂　結城琢

蓬○萊○一○別○十○經○年○　詩○酒○相○逢○淡○水○邊○　記○得○古○城○山○館○夕○（[illegible]）松、吹落川娟○

誰（45）　布施生譯

しかし老人は應じなかつた、彼は又今しがた或男が持てきた書附を讀んでゐる處であつた。目を通して仕舞ふと老人は平常になく慌しく立上つて帳場に一圓札を抛出しながら、突然鈴富の手を取つて店から驅出した、そして停車場指して一生懸命に奔つた『遁がしちや御仕舞だ、サンゼルマン行の汽車には間に合はんかな』『何處へ往くんです』『早く〜』人目も構はず驅通して自動車の扉の前まで來ると老人は大急ぎで運轉手に向ひ『ねいヴェシネまで幾何で行く』『濟みませんが旦那道が不案内で』鈴富は此時やつと往先を合點した。『道は己が知つてゐる』『旦那大分遲いから五法戴かして下さい』大急ぎでやるには幾何だ』『旦那、それや思召次第で、ね、まあ八圓も戴きましやうか』『可笑、俗やる半時間前に出た自動車があるからそれに追附け』『旦那さあお乘りなさい』

ヴェシネの停車場からは道路が二つに分れてゐた。左へ行けば森へ通り、右へ行くと山へ出る。右手の道には所謂別莊建で夏向け混雜合ふが冬は立籠れになつてゐる住家が何軒か寂しげに建つてゐる。鈴富と老人とは其夜の九時頃此南道の岐路で車を降りた、五分ばかり前に一丁程前を驅けてゆく自動車のランプが目に入つたのであつた。老人は約束の賃金を拂つて運轉手に向ひ『お前は何處か茶屋へ往つて休んで居れ、半時間しても己達が歸らなかつたら儘巴里へ歸れ』そう言ひ棄てゝ二人は約五分ばかり泥濘を厭はず車を追ふて驅けたが軈て或家の前まで來ると鈴富は立留つた『こゝですよ、八號の宅は』見れば門の前に先刻老人が認めた自動車が乘捨ててある。老人は鈴富の袖を引いて『こりや此處からは入れんわい、何處か外に入口は無いかな』そして鈴富を促して忍び足に塀の周圍をぐる〜と歩いたが、軈て足掛を認つて老人はあれ程太つた人には珍らしく輕に塀の上頭に飛び上つて、ぐつと身體を持上げるとする〜と攀上つた、鈴富も餘儀なく上りかけたが之は又年齡の若きにも似合はず一向身が輕く扱へない、結局老人が復び飛降りて背後から尻を押上げてやつた。降りる時も同樣老人の手傳ひが入用であつた。

雜誌抄

◎九月と星（現代の科學）

▼水星● 月初めには曉の星にして日出前一時餘にて東天に見ゆるが、下旬は宵の明星となり、月末に至れば日沒後約一時間にて西天に現はる（乙女座）

▼金星● 宵の明星にして日沒後約二時間にて西に沒し、宵の西天に最も著しき光りを放つ（乙女座、天秤座）

▼火星● 曉の星にして日出前三時間餘にして東天に現はれ次第に光輝を增しつゝあり（雙子座、蟹座）

▼木星● 夜半前後に東天に現はれ赤色一等星大の光りを放ち十二日に月と接近す（牡牛座）

▼土星● 曉の星にして一等星大の光度を有し日出前數時間東天に現はる（蟹座）

婦人界　創刊號

▼萬人向きの婦人雜誌▲

▽材料の實際的にして内容の豐富なるを見よ△

◎無駄を出さぬ暮し方……貴族院議員　江原素六
◎贅澤に過ぎる現代婦人……婦人矯風會々頭　矢島楫子
□變つた貯金の仕方（實際行つた三婦人の貯金法）……大野照子
□苦しかつた内職さがし（人には賴まれぬ意地の苦しさ）……濱野下枝
□家庭教師のにがい經驗（教育を虛榮でする成金家庭）……美登里
◎常識に乏しいのは婦人の缺點……山脇高等女學校長　山脇房子
▽婦人はこの缺點をどうして補ふべきか
◎姙娠中守るべき攝生……[illegible]婦人科長　下平尙
▽姙婦の見のがす可からざる攝生法
□媒妁人には誰を賴むか（確だと思つた良人は放蕩者）……須賀野直
□繼母とまゝ子（誰が冷たい心を起させるか）……里路義子
□年下の者との緣談（若い女の悲しい身の上相談）……淑子

▼金のかゝらぬ改良生活法▲
▼簡易な家事の整理……三角錫子
▼買ひたいものは二日待て……櫻田節彌
▼世慣れた婦人の交際ぶり……栗塚龍子
▼丈夫で上品で安い衣服……甫守ふみ子
▼安くて美味しくて滋養になる食物……益田正子

◎上手な世帶のくりまわし……女子商業學校學監　嘉悦孝子
◎子供の喜ぶ遊びのいろ〜……女子大學附屬幼稚園主事　甲賀藤子
□手際よく出來る張物の仕方……女子大學教授　手塚かね子
□羽織を袷に仕立直すには……栃木高女教諭　上村ちう子
□手輕に出來るお惣菜……木村割烹塲主　木村利根子
□香の物の漬け方いろ〜……松本旅館女主人　坂口千代
◎若い女に誘惑の多い時季……警視廳警部　阪口鎭雄
◎罹り易い子供の病氣……女醫　藤井かう子
□子供に聞かせる話の種……□看護婦を賴んだ時……
□屑屋から見た家庭……□家庭に必要な表具の話……
□婦人の新しき職業……□手輕な束髮の結び方……

▲長篇小說 野菊……巖谷小波
小波氏筆を小説に絶つこと十有二年、今や起つて本誌の爲に絢爛の才筆を揮はる、見よ、見よ、見よ。

▲新講だん 義士傳の女……白馬台隱士
四十七義士の裏面に潛める貞婦烈女の美談にして一讀血湧き涙溢るゝの思ひあり正に婦人必讀文字

□口繪 ◎若き妻……池田輝方　◎伏見宮兩姬宮殿下
□本誌創刊に付名流婦人の祝歌祝書□新婚の人々□生絲檢査塲□伊田炭鑛内の與謝野氏夫妻□令孃かゞみ□張物と裁縫……

九月號 ▽定價拾七錢▽郵稅一錢五厘 ▽半年特別號郵稅共壹圓廿錢 ▽壹年同 貳圓卅錢

婦人畫報 婦人界 日本幼年 少女畫報 少女新聞 發行所
東京京橋鍛冶橋外（振替四千九百番）東京社（全國書店賣捌）

▽婦人に適切にして記事の平易なるを見よ△

▼家庭日常の相談相手▲

生徒募集
甲種程度 私立松本商業實務學校
一二三年生補缺 願書九月十五日限
廣島縣賀茂郡西條

公債 株式 [illegible] 現物賣買
京城吉野町一丁目九十五 古閑商店 電話三十番

朝鮮銀行 第拾六期決算公告（大正六年上半季）

貸借對照表

負債	金額
資本金	貳〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	壹、五四八、壹五六、〇〇
銀行券發行高	參九、八九參、七八〇、〇〇
仕拂手形	壹、壹〇〇、七貳〇、〇〇
政府貸下金	七、貳〇〇、〇〇〇、〇〇
諸預り金	四、五參參、壹九八、參〇
仕拂爲替手形	壹四五、九壹八、六貳
借入金	參、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
賣爲替	八九〇、四〇參、六七
他店ヨリ借	壹、五壹九、七五六、八參
松田銀行部ヨリ借	貳貳貳、壹〇五、參八
本支店未達勘定	壹貳壹、六六四、八九
仕拂未濟配當金	壹八、參〇五、九七
前期繰越金	壹八貳、參五貳、七七
當期純益金	六壹八、〇參〇、九貳
合計	壹壹六、九九四、參九參、參五

資產	金額
拂込未濟資本金	七、五〇〇、〇〇〇、〇〇
政府貸上金	七、五〇〇、〇〇〇、〇〇
定期貸	四、九四五、四四五、〇〇
通知貸	壹、參貳五、五〇〇、〇〇
當座貸越	五、六五五、〇八〇、九四
割引手形	參四、六參參、六六七、九九
荷爲替手形	貳九八、六四六、五貳
利付爲替手形	壹、壹七九、五貳九、〇貳
別途貸付金	壹〇、七六參、六〇〇、[illegible]
預ケ金	參、五六貳、壹八〇、[illegible]
假拂金	[illegible]
買爲替	貳、六九參、〇六八、[illegible]
公債及證券	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
松田銀行部へ貸	壹、〇〇六、五六五、參五
地所建物什器	貳、九壹參、〇七〇、壹七
新築費	[illegible]
外國貨幣	[illegible]
地金銀	[illegible]
金銀有高	[illegible]
合計	壹壹六、九九四、參九參、參五

損益勘定

一 金四百參拾六萬貳千參百四拾參圓[illegible] 當期益金
一 金參百七拾四萬四千參百拾貳圓[illegible] 當期損金
差引 金六拾壹萬八千參拾圓九拾貳錢 當期純益金
外 金拾八萬貳千參百五拾貳圓七拾七錢 前期繰越金
合計 金八拾萬參百八拾參圓六拾九錢
內
金拾貳萬壹千八百四拾四圓 損失補塡準備金
金壹萬參千圓 配當平均準備金
金四萬四千圓 役員賞與金及交際費
金參拾萬圓 舊株配當金（年六分）
金貳萬八千七百六拾七圓拾參錢 新株配當金（年六分）
金五萬圓 舊株再配當金（年壹分）
金四千七百九拾四圓五拾貳錢 新株再配當金（年壹分）
金貳拾參萬七千九百七拾八圓四錢 後期繰越金

右之通ニ候也
大正六年八月
朝鮮銀行
總裁 美濃部俊吉
理事 三島太郎
理事 木村雄次
理事 大田三郎
前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ認ム
監事 伊藤長次郎
監事 服部金太郎

大阪電報 二十二日 大阪三品 [illegible] 正米 [illegible]

▲腰入益深し

[illegible]

後場 寄付 十九圓二十二錢 [illegible] 十九圓二十三錢 [illegible]

○聯合國會議開催か

英國外務次官は時局問題に關し聯合國會議を開催すべしと聲明せり（倫敦電報）

○獨宰相委員協議

獨宰相ミハエリス博士は羅馬法王の講和提議に關し二十一日議會に於ける委員と協議せり（倫敦電報）

○英佛兩軍の奏効

佛軍ミューズ河岸の防禦線占領

英軍がイープル線に於いて攻勢を執り著々成効しつゝあるに對し佛軍はヴェルダン前面に攻勢を執りミューズ河兩岸十一哩に亙る敵の防禦線を確實に占領し一哩四分一の深さに侵入せり（倫敦電報）

○伊軍敵の猛襲を撃攘

伊太利公報に曰くアルボポの北方に於て我が軍は敵の抵抗に打ち勝ちイソンゾ河に多數の舟橋を架し左岸に渡り猛烈なる戰鬪の後プラブアより海岸に到る敵の第一線を占領せり尚我が飛行機二百八隻は此の戰鬪に參加し敵の機關銃線を攻撃せるが野砲機關銃の鹵獲多く捕虜七千六百名に上れり（倫敦電報）

○印度士官の軍功

印度事務大臣モンテーグ氏は下院に於て述べて曰く歐洲戰爭に參加せる印度士官九名は軍功に依り印度駐在英國軍隊の將校に任ぜられたり（倫敦電報）

○邦人米上陸制限傾向

五月より實施されたる米國新移民法により日本人上陸者に對する學術試驗は實施の當初は至極寛大なるものありしが近來漸次嚴格となり日本人上陸制限の傾向隨所に現はるゝに至り最近廣島より向ひたる五名は上陸を拒絶せられ日本人保留所に拘禁同樣の身となれり（大阪特電）

○臨時參議院召集

支那政府は一箇月以内に臨時參議院會議を召集すべし（北京電報）

○日支爲替銀行成立

今回日支爲替銀行成立せるが其の重要なる點は(一)資本金一千萬圓を日本より借入れ五百萬圓を拂込金とし支那側は拂込まざること(二)爲替事務を取扱ふべき事(三)本店を北京に支店を上海に置くこと(四)金銀一覽拂手形を發行すること(五)總理を陸宗輿氏とし重役を支那人支配人を日本人とすること(六)投資銀行團は朝鮮銀行、日本興業銀行、臺灣銀行其他の銀行より成ること等なり而して支那政府は十二日付を以て右銀行の成立認可を與へたり（北京特電）

○鐵道院貨車新造

鐵道院にては秋季收穫期の貨物激增を見込み十月迄に一千餘輛の貨車を新造し各線に配給す可し（東京特電）

○齋藤府會議長逝去

東京府會議長齋藤孝次氏は豫て食道癌に罹り療養中のところ二十二日午前四時遂に逝去せり（東京特電）

○軍司令官通過

新任朝鮮駐劄軍司令官松川中將は二十二日夜對馬丸にて釜山着十一時發列車にて京城に向へり（釜山特電）

○滿洲產業統一

▽統一後第一著の改善

中村新都督既に旅順に入り宮尾新民政長官も著任し關部勤務總長赤星く任に就ける今日官制改正に據れる滿洲政務の統一と滿蒙開發の新官制とは一方滿鐵會社の活動、朝鮮銀行の活動、東拓會社の業務進出と共に近き將來に現はれ來るべきが差當り改善せらるべきものは產業上の施設經營なるべし、從來の謂ゆる三頭政治なるものは政治上には格別の弊害なかりしも產業上に於て其の施設に其の獎勵法に將た其の調査立案に都督府は都督府、滿鐵は滿鐵、領事館は領事館と二重乃至三重の取扱ひをなし其の方針も自然異なり住民をしてその適歸する所を知るに苦しましめたるが今後は先づ第一著に此の重複の取扱ひを改め其の方針をして一途に歸せしめ自然無益の手數と經費を省略する事となるべし、尤も都督府民政部の手にて設置したる產業上の諸機關と滿鐵會社に於て設けたる同樣機關とは今後も双方共に之を存續し唯だ此間に双互の連絡融通を緊密にし一途の方針の下に相並んで產業の發達進步を圖ることゝなるべし而して其の結果は從來の如き二重の試驗、二重の施設又は補助金の二重下附等は其の跡を絶つに至るべし、教育上の施設も都督府民政部のものと滿鐵會社のものとは時に往々相衝突したる事あるが是れも其の方針を一途に歸し各機關も今日以後と雖も交々分立せしむるも連絡融通の方法を講じ聞して相牴觸するが如き事なからしむべしと云へり（大連）

○哈爾賓の金融

哈爾賓金融近況に付或る筋の調査に依れば露國の外國爲替禁止に因り銀行は一般に爲替取扱を中止せしを以て輸入品代金支拂ひは困難となり各國人共輸入商は其々相當の損害を來し殊に七月中旬末露亞銀行の預金支拂手控並に露國に絶對輸入禁止令出で市況一層沈衰せり輸出商側は大連定期大豆暴騰の爲當地方の當業者は現豆輸送に忙しく新資金を要せしも運輸不便國境封鎖に困却の樣子なり又爲替は當分回復せざる可く八月に入りても資金の需要は左して大ならず輸入品は歐洲行貨車なき爲め當地に停滯し輸出品は亦々沿線よりの出荷ありしも捗らず殊に滿鐵にて船舶を有する向に對しても特別に輸送を爲さざるに至りしを以て大豆の滯貨著しく露貨下落の影響として出入品共物價昂騰せり

●（朝鮮）鑛業會進捗

近く發會式擧行

朝鮮に於ける鑛業界の進步發達を期して夙に準備中の朝鮮鑛業會は過般來數次の會合の結果去る十八十九兩日の首唱者會合となりて會則草案を決定し創立委員長に村田鑛務課長を推し小林藤右衛門氏を同事務主任に松井民次郎氏を同副主任として會員募集の手續に著手せり其發會式は來る九月末若くは十月上旬に開催の豫定なりと云ふ

同會々則の要旨は其業務を發達ならしむる爲め同業者法人及び會員とし方法者の寄附金を以て一定の基本金を備へ會の經費は該基本金の收益及び寄附金を以て支辨するものとし同會の目的を達する爲め適業に關する理論の研究及び意見の具陳、會員の質疑應答、會誌の發行、鑛山工手の養成、圖書標品の蒐集[illegible]

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○米人ワイル君、今春東京に來り、拙著『大正の青年と帝國の前途』に就き、親しく商量する所あり。頃ろ其の新著『米國世界政策』を、本國より寄せ來る。予は君が拙著に對する批評と、質問とに就て、君が尋常一樣の文士にあらざるを、識認したり。今や其の新著を讀み、其の觀察の比較的博大にして、其の見解の概して公平なるを、嘉みせずんばあらず。

○君は經濟的國際戮協を以て、世界の平和を、贏ち得可しと做するのに似たり。されど此の理想は、彼が一方に於ては、時候後れとして唾棄しつゝある、マンチェスター派傳來の理想にして、別段珍しくもなく、又た餘り有くもなし。吾人は國際的經濟競爭が、却て戰爭の原因たる事實の多きを、想起せざるを得ず。

○否な此の事實に就ては、著者は吾人よりも、鮮明、痛快に、之を看取したるが如し。本書の第二章『戰爭の骨組』を讀めば、戰爭は種々の口實の下に、行はるゝに拘らず、徹底の理由は、經濟的刺戟に存する事實を歷擧して、遺憾なからしめたり。

○曰く、カアセージと羅馬とは、榮譽の爲めに戰はず、食物の爲めに戰へり。獲物はシシリに於ける豊饒なる、小麥の耕地にあり。雅、斯但耳多の戰爭の如き、唯だ商業的、利用的の赤裸々的交鬪に過ぎず。若夫れ英國の印度征伏に至りては、帝國的理想の發揮と稱するも、其實は商賈的慾望に過ぎざるや明けしと。

○又た曰く、戰爭及び平和の歷史は、經濟的必需を以て、感情的考慮を、淩駕したる歷史也。看よ今日に於て、獨逸人と土耳古人と、佛人と阿非利加のセネガムビヤ人と、英人と日本人とが、一時的にもせよ、互ひに相ひ要する所以は、其利を同うすれば也と。

○若しワイル君の論法を推して、米國の參戰問題に適用せば奈何。若し此の論法を、今回の大戰爭に擴充せば奈何。吾人は我が國民の徹底的に、當面の問題に接觸せんことを望む。

●大連最近經濟（下）

△追頭の推貨 七月初め二十[illegible]

如斯多數の商業が低下したる理由は補充食料として山東省への輸出を[illegible]從ひ來[illegible]から青島輸出の途開け且つ季節の關係上奧地方よりの廻荷[illegible]物取引所に於ける大豆市場の大爆發大納擾なりとす實に未曾有の事件とて[illegible]全く向上の一路を辿り五月末に於て既に四圓の關門を越ね六月に入りては五圓の大關門を突破するに至れり而して理事[illegible]は更に買方に對し各一[illegible]限一車三百圓宛の臨時證據金の納入[illegible]は少も怯まず白井の買玉を受けて益々沸騰せる人氣は益々昂騰するの[illegible]有力家を煩はして紛擾の調定策を議し其解決の局に當らしめ而して[illegible]

●鮮銀成績（下）

二十一日株主總會に於ける美濃部總裁の演說

▲業務の概況

▽支店の增置　當行業務の發展上引續き滿洲に支店を增置するの必要を認め三月間島龍井村に出張所を開き六月吉林に支店を設けたり依て當行の營業所は本店の外內外合して二十六を算するに至れり

▽預金及貸出金　當季末の預金は總額四千七百五十三萬三千百九十八圓を示し前季末に比し一千四百四十九萬九千八百八十八圓前年同季末に比し二千七百七十萬三千三百十三圓を增加し又當季末の貸出金は總額六千六百三十萬一千四百七十圓にして前季末に比し六百八十一萬四千百八十七圓前年同季末に比し五百七十五萬六千七百五十九圓の增加を示したり如斯預金貸出金現在高の增嵩著しきは各季を通じ未だ曾て見ざる所なり

▽外國爲替の賣買　本季業務中最も良好の成績を擧げ當季間に於ける賣爲替は二千三百八十二萬九百二十九圓となり前季に比し九百二十六萬二千六十六圓を增加し買爲替は一千二百五十一萬二千四百八十四圓にして前季に比し五百七十萬五千九百四圓の增加を示せり

▽銀行券發行業務　當季の銀行券發行高は一月一日に於ける四千六百六十二萬七千零八十圓を最高とし五月十二日に於ける三千六百十二萬五千六百八十圓を最低とす而して季末に於ける發行高は三千九百八十九萬三千七百八十圓にして前年同季末に比し一千零七十二萬三千七百七十圓を增加せり

▽國庫事務　當季間に於ける京城本金庫の受入金總額は一億七千五百七十三萬二千二百七十二圓拂出金總額は一億七千七百四萬四千九百七十圓にして此內內地との間に於ける回金は受入額百十五萬二千四百四十三圓拂出額は一千六百八十九萬五千六十二圓を示し其對市場受拂は一千四百四十三萬三百六十四圓の受入超過となれり

▽補助貨整理事務　當季間に於ける舊韓國補助貨の內地回送高は一萬九百八十二圓にして內地より回送を受けたる帝國補助貨は十五萬二千圓なり

▽產金取入業務　當季間に於ける朝鮮の產金は季初稀有の酷寒なりしに加へ季末又旱魃甚しかりしかば共に用水に缺乏を來し水車精煉に依るものは久しく操業を中止したると採金鑛夫の銅山或は黑鉛採掘に轉業して其の數を減じたると且つは鑛石の償移出するもの增加したるに從て當季に於て之が產出前年の如くならざりしも他方當行の取入高に減少を來したる關係に依り亞米利加より對外爲替出合の正貨現送を受けたるが故に當季の本業務は反て良好の成績を示し造幣局に輸納したる純金量目は一千二百五十三貫六百八匁一厘其成貨額は六百二十六萬九千五百四十圓五錢にして前年同季に比し純金量に於て一百四十五貫十三匁六分二厘成貨額に於て七十二萬五千五百六十八圓十錢を增加せり

▲之を要するに

當行は前記の如き經濟界の狀況に處し當季中鮮內一般に對する貸出標準金利の統一を策して之が引下を實施し次で同業者に對する融通金利の低下を斷行し以て取引の利便と市況の振作とを計圖し又滿鮮間無手數料振替送金の制を定めて相互金融の連絡を容易ならしめ以て財界の大勢に應じて產業の勃興に裨補せんことを期し又之を外にしては帝國商勢の進展に伴うて營業務を擴張し其の施設を整備し以て國家の期待に背かざらんことを念とせり而して當季間の營業成績は以上記述するが如き好成績を示し其の純益金は六十八萬零三十圓九十二錢に達し前季に比し五萬二千四百七十五圓五十五錢の增加を見たり如斯は一に當行營業範圍の擴大せると共に業務北年堅實なる發達を遂ぐるに因るものにして株主各位と共に欣幸とする所なり

●農銀證券應募

漢湖農工銀行にては今回募集の臨時國庫證券に對し朝鮮銀行に對し三十萬圓の應募を爲せるが內九萬圓は露西大藏省券の乘換にして二十一萬圓は現金申込みなりと

●京畿面書記講習會

京畿道にては管內各郡をして九月中に面書記を召集總督府內務部より配付せる面例說明書に則りて講習會を開催の筈

●藤田書記官入京

驛政局書記官藤田嗣雄氏は二十二日夜入京せり

●龍居滿鐵理事

滿鐵理事龍居賴三氏は二十二日午後九時四十分南大門驛通過北行したり

●鮮銀券發行高

八月十二日より十八日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高は四千二百五十二萬四千三百五十一圓なり

●大阪財界通信

▲傭船料益昂騰

米國造船材料輸出禁止によりて內地船價は近來漸次騰貴し來り新造船噸當り八百五十圓乃至九百圓を唱ふるに至り傭船料亦從って米國航路一ケ年卅九圓を唱へつゝあり而も內地航路にては夏枯期に入りて石炭採掘思はしからざるより一時下押傾向ありたるも漸く復た北海木材積取期切迫したるための煽りと先高見越とによりてこれ亦騰貴の傾向を示し傭船料亦三十圓乃至三十二圓を唱ふるに至り九月に入らば尚活況を呈するならん

▲芳香原料暴騰

芳香原料は從來專ら獨逸を經て輸入されたる關係上戰亂後輸入絶無にして本邦の恐慌一方ならざりしが其後佛英瑞西より輸入を見たるを以て漸次愁眉を開きたり然るに戰亂永續せる昨今又も輸入品著しく減少し爲めに在品拂底を來し昨今相場非常に昂騰せり就中化學香料の如きは歐洲に於ける原料及び製產費に大騰騰を來したるより製造を中止せるもの多く本邦への輸入殆んどなきものあり從て市價は十倍乃至廿倍迄の上騰を見たる物價なからず目下の相場は人造マスク六十圓の物七十五圓にテーゲ十三圓の物十八圓にロビン二十圓の物二十八圓に[illegible]學香料[illegible]

■百聞百種（四）

新聞雜誌に[illegible]間もなく物故した奥田義人博士は大學時代は江木衷博士と同期生で何時も二人が首席を爭ったものだ▲恰度卒業する前年兩博士の間に奥田博士は賭をして江木博士は講師請めをやらうと云ふ約束が出來た▲而して江木博士は或夜學校の講書師に忍び込みいざその評議となるや一歩先んじての種本をスッカリ讀んで知らぬ顏▲試驗問題を試み▲教授が行き詰まると奥田博士が音頭をとって▲ワッショイ〳〵と床を踏み鳴らしたものだと

▲自稱豫言者宮崎虎之助君が此程宗演師を鎌倉に訪問し▲自分は十五年此方心身を捧げて宗教に專念して居るが▲一人の信仰者もなければ弟子もなく頗る悲境に陷って居ると訴へた▲默って聞て居た宗演師は其は貴公が間違って居る眞實の宗教なら十年や二十年で宣傳されるものでない▲若し出來るとしたなら其れは愈々以て安價な宗教じゃ▲之には豫言者君もスッカリ參って仕舞ったが其の後で實はお金を少々と出ると▲禪師は『あゝ金ですか』と佛壇にあった布施の包みを二つ三つ渡し▲百圓あるか一錢あるか實はまだ開けて見ないから判りませぬ▲何ともたく面白い處がある

人事

▲松川中將[illegible]
▲[illegible]
▲松村[illegible]
▲中村[illegible]
[illegible]

公告

關東都督府巡查募集

[illegible] 大正六年八月 關東都督府

[illegible]

龍山水產株式會社

收支決算 [illegible]

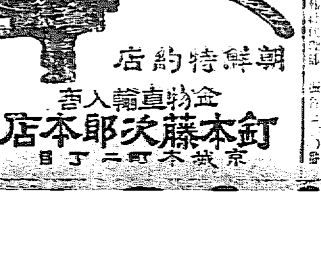
當期純益金 [illegible]
前期繰越金 [illegible]
合計 [illegible]
法定積立金 [illegible]
別途積立金 [illegible]
役員賞與金 [illegible]
配當金 [illegible]
後期繰越金 [illegible]

右之通[illegible]候也
大正六年七月貳拾八日
龍山水產株式會社
取締役社長 川田又藏
專務取締役 水野源藏
取締役 守永安三郎
同 山口紋太郎
同 熊野吉藏
右審査ヲ了シ相違ナキヲ證明ス
監査役 山本源吉
同 波多野寅槌
同 右田恒造

旅行用具 東京製袋物 [illegible]

新築落成
新築中の[illegible]店舗落成し從前の營業所より營業開始特別大勉强を以て御用命に應ず可く候間何卒倍舊の御引立の程偏に奉願上候
京城本町三丁目[illegible]
各國時計類 貴金屬製品 眼鏡類販賣 並に修理所
市川時計店
電話一一〇五番

甞の道しるべ
山縣五十雄 村上雅古 共著
[illegible]

松田式ポンプ

朝鮮特約店
金物直輸入
釘本藤次郎本店
京城本町二丁目

京日案內
▲市內[illegible]
[illegible]

○土地割安賣却 坪數七百五十一坪 上地 凡二百圓內外 月利益四 所京城三坂通二番地 但兵營上 伊藤鐵工所
○賣藥店讓 十間內外家賃四圓半 歸國付讓渡 望方は 京城西大門 乙來談 松峴洞六十九 河合藥房
○見習看護婦至急入用 希望者本人來談 龍山元町一 野醫院 電話二〇四番 467
○金融御諮詢に應す詳細は御面談の上 京城本町二ノ三〇 山戸商會 電話一七五五番 466
[illegible]

○看護婦及藥局生入用 志望者は本人來談の事 仁川 佐藤病院 453
○俵ボーイ入用 十七八歳より廿四五 擔球に相當經驗ある者內鮮人を不問 本人至急來談 明治町二 大正軒 [illegible]
○看護婦及見習數名募集す 履歷書携帶本人來談あれ 希望者は仁川 松本病院 458
中古ピアノ 出物あり 貸オルガンも有ります 京城本町 ウツボヤ樂器店 電二五二七 435
○工場讓渡 將來非常に有望なる製紙工場讓渡 但し價千六百圓 (姓名在社) 425
○賣宅地 左記所在六百餘坪(課稅地價九百餘圓)賣價坪一圓分割不苦 西大門外獨立門內 東光社 [illegible]

番外

○醫師招聘 (忠淸南道青陽鑛山) 希望者は京城永樂町二ノ七青陽鑛山事務所へ 電話三〇二六 460
貸家 三ヶ所あり 眺望絶景 (但獨立家屋) 京城旭町一丁目 電話一七一四番 白水 457
開業 乘合自働車 賃金片道四圓 京城春川間 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り 電話二二一三八番 春川自働車商會 松田壽男 360
年金 恩給 低利 四年 迄無保險立替 利子前引なし 長期五年迄 即時融通 商品陳列館下角 ▲京城永樂町一 江州屋本店 378
鑛物各種分析 遠藤瓦斯油店向側入る 太平町二丁目三三六(電話二八〇三) 松永分析所 418

(三) 號九十六百五千三第 (可認物便郵種三第日十月八年九十三治明) 報日城京 日三十二月八年六正大 (日曜木)

大正六年八月二十三日（木曜日） 京城日報 第三千五百六十九號 （三）

を占むるものは商業にして實に四萬三千噸てふ新記録を作り例年同期の比較に比して千數百噸の多量を示せるれ輸出途滯を來たし爲めに此多大なる堆貨を見るに至りしなり然れども中旬以降沿岸航路の閑散期に入るに過ぎず

△特產物取引所 七月中特筆［illegible］の大活氣を帶び來りしが原來豆粕豆油は朝鮮奧地方產豆の出廻薄と大旱魃に依る作柄悲觀等を材料として相場の好況［illegible］

●新羅の舊都に遊ぶ（二）

英主武烈大王の陵に謁す……百濟人の後裔たる我感慨深し……眼病を癒やす力ある陵碑

五道踏破旅行記者 李光珠

く恐ろ／＼急勾配の孝峴を下り盡せば、道路の左側西岳の麓に山の如く鎭坐せるが太宗武烈王の陵にて候。王は實に萬里の海外より數十萬の唐軍を呼び寄せ、名將金庾信と共に百濟を滅ぼしたる者にして、新羅の國勢をして全盛に達せしめたる英主にて候。文明の發達が絶頂に達したるも又王の時にして、文明は政治的勢力の背景を要すてふ眞理は、愈々確かなるを覺え申候。其の子文武王に至りて高句麗を滅し、茲に三國統一の偉業を遂げたるも、是亦武烈王の餘威餘勢と見て可なるべく、あらゆる方面に於いて武烈王は、新羅の絶頂にして其より下り坂となり、文化に於いても爛熟ありて新生氣なく、遂に景哀敬順兩王の代の滅亡に至れる如く存せられ候。

陵の廻りに石の裝飾ありしならんも、今や埋れて見わかず、只壯大なる土饅頭のみ、西岳の背景と對照して莊嚴の感を起さしめ候。帽を脱して四拜す、王者に對する禮なり。思へば王は讎なり、小生は百濟人なれば千二百年前の我祖先は、彼を惡み怨む情骨髓に徹したるならん。泗沘城の聖き都を灰燼に付したるは、實に彼の手にて候ひき。されども時は萬物を作り、同時に萬物を破壞す。爾來一千有餘年、高麗人となり朝鮮人となり、大韓帝國民となり更に大日本帝國民となる。同く是れ白衣の半島人にして、今や當時の恩仇を記憶する者さへなきにこそ可笑しけれ。人事の變遷げに極まりなし、百濟人の後裔たる小生が、一千年後の今日武烈王陵の前に四拜するも、考ふれば感慨深きものにて候。陵は東面なり、陵前十數歩の所に一龜趺あり、規模宏大手法雄渾にして、東西古今龜趺の最と稱せらるゝ由にて候。武烈王の第二子にして、唐の捜役たり、金仁問の書せる武烈王の紀蹟碑ありし由なるも、今は螭首を殘せるのみにして碑身失はる、石龜の背部にして碑身の足部に當れる穴には常に雨水溜る、此は眼病の靈藥として古來土地の人民に珍重さる、一老婆來りて龜前に拜し、次に龜背に攀ぢ上りて搾りに兩眼に其の水を塗る、英雄武烈大王死せども、眼病を癒やす力あるものにや、先王の陵前に拜するを忘れて、眼病の靈藥をのみ拜する人民こそ淺間敷けれ

く陵の後方にも規模に於いて大差なき二三の王陵あり、又大建築物の跡らしき平地あり、瓦の破片あり、恐らく王が營を託したる寺の跡ならんか。萬古の英雄の、而も萬乘の君の陵前に拜したるは、此が始めてなれば、感慨いや深く低徊多時、實に去るに忍びざる者有之候へ共、幸か不幸か二十世紀に生れし身の斯く安閑たるを許さず、再び自轉車を驅りて西川の長橋を渡り、鳳凰台の老樹を眺めつゝ慶州城內の人と相成候。茲に飯を喫し先進鄕道路圈內の古跡を尋ぬべく候。早々不一（八月十五日慶州にて）

●支那の出兵は問題にならぬ

軍事眼より觀る價値なし 某參謀將校談

北京電報は頻な支那兵の歐洲出兵説を傳へ來れるが右に付駐剳軍某參謀は全く問題にならずと一笑しつゝ曰く恐らく

▲支那の虚勢 を張る駈やかし若くば爲めにする所ありて何者かが殊更に流布する説なるべし昨年頃日本兵の歐洲出動説傳へられたる事ありしが其の實行は諸種の點より觀察して不可能なるが今回の支那出兵説も其の説の出所は日本兵出動説と相似たるものならん事實支那兵の遣歐など云ふ問題は之れを軍事眼より觀るの價値なく常識にて判斷しても（一）假りに

▲白佛方面 の戰線へ數十萬若くは百萬以上の大兵を輸送せんとするに肝腎の船舶を如何にするか支那自國には船舶らしき船舶を所有せず又歐洲より之れを廻航せしむる事は今日船腹不足の折柄又海上危險の際到底不可能なり（二）露獨戰線に送る事は陸送に付可能なる如く見ゆるも西伯利亞線の輸送力不足は其の爲めに應じ難かるべく第一露國は支那兵を要する程其の兵力に不足なし露國目下の弱點は兵氣にあるなり（三）今百歩を讓り歐洲に支那兵を要し又輸送力も或る程度迄可能なりとしても輜重を有せず新鋭の兵器と訓練なき支那兵を

▲歐洲戰線 に立たしめ幾何の強味と効果を協商側に齎らすべきか如斯事は寧ろ滑稽に近しと云はざるべからず（四）更に支那の內情を見るも常に紛亂絶へず或は南北對立、袁軍南下、各省獨立を唱ふるなど頗る多事なり、斯かる狀態にありて支那政府が各省督軍の有する兵を集中せしむる如き事は到底出來ない相談と云はざる可からず、成程

▲段祺瑞總理 の如きは若干手兵を有するも其の直接麾下の兵を歐洲に派遣せんなどは殆んど虚に受けらるゝ話しに非ず

●鳥羽丸擊沈後報

船員の生死不明

既報の如く日本郵船會社汽船鳥羽丸は本月十六日午後大西洋アブ［illegible］ス東北方海上に於て敵潛水艇の爲めに擊沈せられたる旨無線電信を受けたる英國艦隊より通報ありたるも何分遠洋上の出來事なるを以て果して船員の救助されたる者あるや否や等は一切判明せず（東京特電）

●臺灣暴風雨

死傷者數十名

本月十八日臺灣全島を通じて暴風雨あり家屋の倒壞又は浸水多く死傷者數十名を出せり（臺灣特電）

●北漢山に登って路に迷ふ

京城は日韓印刷會社の店員西熊文治（二一）は十九日午前五時頃出發し單獨にて北漢山登攀を試み歸路は牛耳洞に廻りて歸宅の筈なりしが同日午後八時に至るも歸り來らざるより家人及び知己等は大に憂慮し所轄京城憲兵分隊に其の搜査及び保護を出願し憲兵隊にて山地沿道等手配して搜索中、二十日午前十一時頃無事歸宅したる由今一つは同月十七日遞信局技師須田三千氏が同局技手及び學生の四人連れにて午後一時頃出發し北漢山に達し其の歸途分れ／＼となりて一行の中二人だけは夕刻歸著せしも須田氏及び學生の二名は容易に歸宅せざるより之も憲兵分隊にて搜索中同夜十一時過無事歸宅したりと

●贓物を山中に隱匿す

大賊逮捕さる

京城林町六十三番地居住大工崔興泰（三七）は窃盜前科一犯あり昨年十月九日夜義州通二丁目布木商李海允方の七塀を越ね錠前を捻ぢ切り忍込み現金八圓絹反物五匹外四十點（二百九十七圓）を窃取し贓品の一部は橋北洞質屋金瀅協方外八戶に入質し殘部は行商して賣却し本年六月十三日夜並木町質屋程潤方に忍び入り衣類雜品百八十二點（百四十三圓）を窃取し贓物は奬忠壇の山中又は自宅に藏匿し順次に持ち出して二十二軒の質屋に入質消費したること發覺して本町警察署に檢擧さる

●深夜電燈線を切斷す

平壤本町平壤精米所に雇はれたる木村勘市（三一）は八月六日夜八千代町の電柱に攀ぢ登り豫て買ひ求めたる大鋏を以て平壤電氣會社所有の電流中の電燈線長さ百三十五尺重量二貫三百匁（價二十四圓）を切り取り針金は鎭南浦新興里の鮮人古物商に賣却し龍岡郡池雲面日成里に潛伏中を鎭南浦署の手に逮捕され目下取調中

◆刑事被告人と迷信

平北地方にては近來官憲に於て刑事被告人として留置取調べ中の鮮人間に一種の迷信的蜚語盛んなるより取調べの結果被告人にして未決拘留中に衣類を著更ふれば有罪となるのみならず重刑に處せらるゝに至るべしといふあり如何に衣類が汚染するとも最初拘留當時著用したるものを別の衣類に著更ふることを肯き入れざるもの多く全く持て餘し居れりと而して被告人にあらざるも病氣に罹りたる後最初の著用の衣類を脱ぐときは前同樣の迷信より病氣が重態に陷るのみならず死亡するに至るものと信じ居れり

●人夫二名慘死

慶南鎭海昌原間の道路工事安眠峙第六工區にて十八日午後十時頃俄然土砂崩落し從業中なりし人夫申鳳甲（二七）は即死し林在業（五〇）は重傷後死亡し外に一二名の輕傷者を出したり

●馬賊軍服を著て橫行

一味二千餘名……討伐隊敗北す

昨今漸く高粱繁茂季に入れると共に滿洲名物の馬賊各所に橫行し遼西地方には奉天を逃去せる東玉林、劉曹榮等の一味二千餘名の馬賊と合し二十八師兵の軍服を著用し復辟問題を利用して諸所に跳梁を極め海城附近の六驛にも數百名の馬賊闖橫行し住民の被害夥なからざるを以て張督軍は既に其な討伐隊を派遣せるも馬賊團の方優勢にして討伐隊利わらず鴨綠江流域輯安縣及び鳳凰城附近には滿天紅部下の馬賊頻りに跳梁し住民中江を越ヘて朝鮮方面に避難するもの續々たりと（大連特電）

□僕は避暑に反對

總督府外事課長 久水三郎氏談

僕は日本人の避暑旅行なるものには絶對に反對である。日本人の避暑旅行といふと他國で身上相應の贅澤をするのは極つてゐる。其の癖旅行を好かないものだから、何處かの温泉宿に滯在して自然酒食にのみ耽つてゐるから、其結果は酷ぶる

□不經濟 なものについて、其上ならず歸宅後却て健康を損ねる樣な事になる。夫れに引かへ外國人の避暑となると、我からの旅行好き性質よりする避暑であるから、殆ど形容も服裝も構はずに、旅館とても日本人の樣な馬鹿氣た大金の茶代を置く杯といふ贅澤をせず、バラツク建でも何でも構はない、大勢で自炊同樣な生活をして暢々旅行するので趣味も亦た隨て深い。見給へ元山邊りで毎年外國人が遣つてゐる避暑旅行の

□質素な ことを見ても能く解るではないか。要するに西洋人の避暑旅行は日本人の樣に見得を張りに歩いてゐるのではない、本當に心から旅行が好いて偶々暑中休みを利用して歩くといふのだから日本人のとは大に違ふ、僕なんかは印度に暫くの間領事をしてゐたが、彼方の暑を考へると、京城あたりで避暑だ杯といふとは可笑しくもなつて來るがそこは人間の

□習ひ性 となつて永く印度附近へ歸つてゐると、此の夏の樣な暑さに遇ふと人傑顏に暑つくもなつて來るよ……併し此の間、妻と笑つたことがあるよ……印度に在勤してゐる時の事を考へたら、子供（令息）もさうだ／＼彼の時の猖獗往の人達杯も、何んな暑い所に居ても、暑い杯とは云へないと云つた事があつた（寫眞は印度在勤中の撮影右が課長）

●傳染病

京城貞洞清水某方同居小泉知策（三五）は二十一日赤痢、舟橋町四番地趙永化（七）貞金町五丁目百十八番地山もも（三）は二十二日何れも赤痢と診斷 壽町四十九番地江原さち子（一四）は二十二日疑似猩紅熱と診斷さる

●海老一の日延

廿三、四の二日間

仁川に於ける海老一一座は開演以來非常の好人氣を博し盛況裡に二十二日を以て打揚げの豫定なりしも更に二十三、二十四の兩日間日延べする事としたるが二十三日の藝題は喜劇『三組盃』二幕新喜劇『苦惡』三幕『ワンボール』『ポツー、ステツキ』一幕なりと

●劍道型講習會

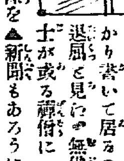
憲兵隊司令部警務總監部有志者にて組織せる武術會にては滯京中なる大日本武德會大島教授を聘して二十二日より向ふ五日間司令部道場に於て武德會劍道型の講習會を開くと

●啞旅行の旭石水

戰亂中の歐洲を啞旅行した旭石水は啞扇子と云ふ一枚看板にヒヨツコリ廿一日入京した、解說は例の武勇傳の如きものであるがお得意の日本語なエスペラント心得てこれを露西亞人にも英國人にも試みたといふのは大笑ひだつた相な、兎に角世界中を股にかけて何處までも日本語で押通したとは面白い、京城では鮮銀の實務はじめ入京中の［illegible］談を試み方々のお座敷に［illegible］御見物のお眼見ね仕ると印度人のやうな顏に眼球ばかり光らせてゐる

●搔つ攫ひ

大阪市南區木津敷津町生れ住所不定の畑中文平（二九）は八月二十日午前二時頃京城本町二丁目山路商店の店先にて水飴二瓶（七十錢）を搔攫ひ本町警察署の巡査に捕はる



▲大塊翁俳句と蘭ばかり書いて居るのも退屈と見たか無佛居士が或る禪僧にへコまされた一條を▲新聞もあろうに本元の國民新聞に素破抜いたので、無佛居士も是非一矢酬ゐざる可らずと何か一つ翁が凹んだ事件をと考へると▲有るわ／＼曾て光州に同行した折り無佛居士が紅い花が咲いて居る棉の畑を指示すると▲大塊翁『ナンノツジヤロカイ棉の花は白色のものと古今東西極まつて居る哩』との御宣託▲處が實際棉畠に行つて見ると棉の花は白、黃、紅と鮮やかに咲いて居たので翁も我を折つた▲江戶の敵を長崎で見付け出した無佛居士早速右の一條を國民新聞で素破抜き返すと▲大塊翁はアツハア／＼と例の哄笑を漏しながら一句唸つて無佛居士に贈つて曰て『高麗棉の花の紅黃を江戶に見て』と又『去年の金羅の畫太が旅跡』

最新刊

◉打碁と要領 野澤 ［illegible］
◉將棊五先定石新法 ［illegible］
◉鐵道會計 ［illegible］
◉朝鮮語高等受驗提要 ［illegible］
◉草書日用文範 ［illegible］
◉大河原隆光著 ［illegible］

支那の眞相

◉水戸黄門 ［illegible］
◉孫子吾問作 ［illegible］
◉委拔千句 ［illegible］
◉和歌の作り方 ［illegible］
◉蜂谷 ［illegible］

新譯碧巖錄

◉運 ［illegible］
◉現代美文 ［illegible］
◉荻 江湖 ［illegible］
◉田園春秋 ［illegible］
◉朝鮮古烈女日鮮文春香傳 ［illegible］

京城本町一丁目 大阪屋號書店

洋服 秋冬服割引特約 京城黃金町 日新商行

醫化學器械一式

地外交員至急募集

藥種賣藥卸商

仁川本町 北島藥店
京城本町 北島藥店京城支店 電話七六一番

新築落成

新築中の處今回落成し左記の處に移轉從前の通り診療に從事仕候

京城若草町卅九番地

眼科專門 金井眼科醫院

日曜祭日午前中 金井豊七 電話一五五六番

宮內省御用達 ヤマサ醬油

夏は一番良い醬油をお使ひ遊ばせ

ヤマサ醬油は品質の良い事日本一

■衛生上安全 清潔なる設備を以て精製致しますゆゑ夏の調理には安全第一
■滋養豐富 他品に比し多量なる蛋白質と糖分を含むで居ります
■經濟的 美味で味が良いので毛頭徳用であります

■到る處の酒類店にて御買上を願ひ升

銚子 濱口儀兵衛

コンクリート工業界之一大革新

特許重力コンクリート混合機

本機は從來の混凝土混合機の如く蒸汽又は電氣の動力を要せずして自然の重力應用を以て混合し得るものなれば工費頗る低廉にして且つ完全なるコンクリートを練り得るものなり且つ機械の重量輕少なるのみならず各部分を重ね合せ疊み込み得るを以て運搬に至便且つ堅牢にして施工頗る安全なりこて斯業界に多大の賞讚を博しつゝあり（詳細は御照會次第御回答可申候）

製造發賣元
特許ペデスタル式基礎工事
コンプレツソル式
鐵筋コンクリート一般工事
鐵筋コンクリート用鋼材販賣

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地（電話本局二八〇六番）
東洋コムプレツソル株式會社
大阪市北區曾根崎上二丁目六拾番地の二（電話北一六三三番）
同 大阪出張所

ビールの眞味を解する方は擧つて本品を愛飲せらる

サクラビール

花筐（八八）

松田竹の人作

態て清徳は容を改めて、

「私の父は小藩でしたから、家に何等の財産がなかつたので、御維新後も生活に餘程困難したのでした。だから私が學問したいにも、學資がなかつたのです。最う三十五六年も前のことですかなあ、苦學する意で東京へ往きましたところが、志は然うでも、却々思ふやうに往かなかつたのです。其頃石島先生は、文部省の書記官でおありになつたのですが、未だ御面識はありませんでしたが、同縣人と云ふ關係から、御訪問して志を述べたのです。然うすると先生は、私を文部省の雇に世話して下されたのです。其處で私は生活に困らずに、勤務の勞に醫學を研究しました。後醫科大學に入りまして卒業すると石島先生の一方ならぬ御斡旋で獨逸へ留學を命ぜられたのでした。」

「石島先生とは、其麽御關係がおありに爲つたのですか。」と早見は、今更に康民の蒼生を愛してゐた高徳に感じて、京子の顏を凝乎と見る。

「獨逸の留學中にも、先生に對しては、常に書信を絶たなかつたのですが、後先生からの御便りがぱツたりと熄んで了ひまして、什麽爲されたらうと思ひ〳〵遂其儘に等閑に附して了ひましたが、何れ人と爲つて歸朝してから、御恩報じを爲やうと思つて居りましたが、私が獨逸にゐることが丁度十年で、歸朝すると靜岡の病院長に爲つたのですが、先生のことを思ひ〳〵其儘にしてゐたのです、私は此處にゐることが向ほ十年で、東京へ來ますと、回生病院を建て、院長と爲つてゐましたが、伜が醫科大學を出ましたから、病院は伜に讓つて『私は其分院を此處に建て、私は世の中を送ることに爲たのです。ですから今日私が醫學博士とも爲り、これだけの地位を贏ち得た根本は、石島先生の御恩情だと、一日として其御恩を忘れたことはないのです。先生は既に御逝去に爲つてゐるに相違ないが、切めて御遺族の方の御住居でも分つたなら、何とか先生に對する御恩報じを爲たいと心懸けてゐたのです。」

「京子さんは、石島先生の御令孃でおありに爲りますから、偶然櫻本先生が御世話をしてお上げに爲るのは亡き石島先生の御引合せとしきや思はれません。」

「然う致すと、京子さんの御尊父が、石島康民先生ですか？」

「左樣でございまして。妾の父が石島康民でございます」と京子が、爽やかに言ふと、清徳は又も意外なのに驚きの眼を睜つて、

「早見さんの言はるゝ通り不思議先生の御引合はせとしきや思へませんですね。……然う致すと。私は充分に京子さんの御身上を保護せんけりやならん理由に爲るのですが、京子さんのこれまでの不始末は、既に過去のことですから、何んにも申さんとして、御決心以上に御謹慎なすつて、然うして志されたところの看護の法を、充分に御研究なさることに爲たいです。其内には何んとか機會を見て、早野さんへ御面會した上で、御歸りに爲るやうに、微力ではありますが、私が取り計らひませう。然うして石島先生へ對する御報恩とすることに爲ませう。京子さん切望私に然うおさせ下すつて、御恩を報じさせて戴きたいのです。それはこれからの、貴女の御決心一つです。」

日報俳壇

瓜　　おゝ子
瓜の蔭に瓜荷船から聞こゆ

雲の峰
昔乘りし駄馬や荷鞍や雲の峰
畑の化種摘む日や雲の峰
音讀する書聖の兒等や雲の峰
野の歌に匿る人馬や雲の峰
鋪蔚庭に落る夕日や雲の峰
矢り峰の底の城跡や雲の峰
市柱建てる人夫の唄や雲の峰
タンク登つ野中の驛や雲の峰　同

夏木立
此の里の鷄皆白し夏木立　梅象
鳥居ある島の社や夏木立　味川

五月雨
屋根草を啄む鳥や五月雨　同

茄子
蔭干の蛙插る兒の明日夕日影　同
夜の雨に茄子は皆地伏す　作二
朝晴の厨明るし茄子汁　其痴

雨乞
雨乞の大衆に月は傾きぬ　同

削氷
匙が觸るコップの音や夏氷　同

二百十日　五の日十の日會

○二百十日の種南瓜樣にころがり　浮碧樓
○二百十日頃の小人數の避暑術　華虹
○二百十日の御風祭の子等が寢入り　阿岐良
○二百十日の朝の菓子屋の紐紙吹かれ　田柿
○二百十日まる水上署長の赴任か　句孝
○背丈けにかゝりて二百十日になる　鳥堂

一日一句

鉢の底に一匹生くる金魚かな　紫山子
青葉隧凝をへつて芝笛吹かれ　魚骨
鞴子や日々來て洗ふ馬太し　浩一郎
短夜や初乳吞子に泣き癖の　白紅
葉櫻に牛牽き入れし臨工事　靜軒

○山城吟社句錄＝大正六、八、二〇＝

夏雜
夏顏の堅がれて鶏肉に絡む
夏痩や窮に趣せ行く山の瀑
鰤の漁拍く砂丘の人や牧童鳥
涼しさや屋の飛び飛ぶ樂材所
涼しさや白珠相鳴る浮
網越に飛び行く魚や月涼し
涼しさの岸のかゞりに渡舟
蝙蝠や廚に疲れて睡の重き
涼しさや樹蔭映りし幾机
夏顏に片輪外つれし操削房
夏寒さ日や稼畑の空を動かさる
甲板に日出涼しき點呼哉
渡泉の里や漁火涼く見る涼し
夏顏や砂ち捨ていある文の數
夏顏や砂に投げやる瓜の代
涼ありて頭さぬ門や閑古鳥
涼風に親子六人瓜の月
潮は土手に上りぬ夏の月
商講家の身振に興き扇哉
旋風器向いられて涼し對話哉
ズリヤ吹くに蝶の破れも早哉
凉盛る白き芭蕉の贈き哉
蝙蝠となりて三年鳴かさりし

俳諧正調（例會吟）＝根無し會＝

兼題「團扇又は扇」

二十三點蝶浪、十四點久廼家、十三點丹梁、十二點毬波、十一點浮姫鳥、同點麟小路、十

團扇細目に語は伐目、他所の見る目も懐かしい―三點　かつ子
團扇持つ手がしなよく動く、月のまるい夜の盆踊―三點　K生
戀の小扇畳んだ折り目、いつか擦れて見える憂目―三點　暘小路太郎
骨の數ほど恨みはあれど、胸に疊で持つ扇―三點　門脇紫浪
それと言はれぬ心の内を、輕く團扇で送る風―三點　窪田東海
涼み更した從夜の戀を、煽ぐ絹團扇―四點　暘小路太郎
折る娘を見るのか乙鳥、絹簾すれ〳〵往戻り―四點　大塚久廼家
人目派手なは團扇の表、戀の裏捨がいかえない―四點　暘小路太郎
戀し朝顏扇の歌に、深雪や悲しい戀を知る―五點　高野浪廼家
三保を見ておけお庭の小松、霧さす扇の富士岳―五點　龜島鳴海家
出會でおしるしに扇を屆、とんと無沙汰の音を聞き―七點　門脇紫浪
電氣團扇は要にはないが、扇の紫を遠く月の風―七點　見山東水
骨身碎いて精けの鳳を、送る團扇の心中立―八點　門脇紫浪
見捨てられても心の奧、秘めて亂さぬ古扇―九點　同
奧の部糖團扇よりも、月の草家の渋團扇―十點　小島浮鯨鳥

人
掃ふ團扇は精の團を、越して身を燒く（夏の虫）―地十一點
好きと嫌ひに團扇の風を、男と表ないやない―天十七點　歌垣丹梁
遊茶られしや團扇も添へて、愛想汲み出す根來盆

新刊紹介

▲少女（九）　少女雜誌として最も趣味ある（一部十二錢東京時事新報社）
▲朝鮮鐵道青年（八）　朝鮮鐵道青年會の機關雜誌にして趣味ある記事多し（龍山朝鮮鐵道青年會）
▲活動寫眞雜誌（新講談）　活動新講談、錦城齋典山、大石良雄、桃川忠兵衞、大久保彦左衞門其他お富與三郎、松前鐵之助、新門辰五郎、鏡山猫騷動、髭の助六等あり活動界の奇談珍事消息等何れも面白く口繪寫眞七種の説明等賑やかなることにて本號にて三百頁豐富の御本なり（一部三十三錢東京赤坂一ツ木六五其社）
▲娛樂世界（九）　圓玉、馬琴、如燕、貞水、典山、伯山の突保白波五人男、名槍日本號、丸橋忠彌、三年合扶蹤、俳句群雄、勞力富五郎等の何れも讀切物と、小さん、金馬、伯山の落語、岡本綺堂氏の探偵小説其他趣味ある記事を充む（一部二十五錢東京日本橋簑實鏡店其社）
▲俳句世界（一ノ一）　俳人の好伴侶たると共に初心の者にも解り易き俳句專門雜誌なり（一部十八錢東京本鄕西片町三五其社）
▲田園趣味（一ノ一）　發刊の辭に曰く農村生活の無味寂寞を感ぜしむる田園趣味なる此の雜誌作るも、讀者もよく記事も豐富なり（一部十錢東京芝區其社）
▲日本の關門（八）（一部二十錢下關東部町一四七關門日日新聞社出版部）
▲わかりやすい●●●●●鑑別の話（元新發田旭町校長工藤雄吉氏著）（東京南傳馬町有隣堂）
▲蓼洲新報（一〇の八）（一部二十五錢東京牛込下宮比町六其社）
▲禪機（六）（一部十五錢東京々橋區南鍋町一の三三其社）
▲電氣旬報（一〇九）（一部五錢大阪北區若松町一六其社）
▲經世（一二四）（一部十三錢東京芝田村町六其社）
▲現代之科學（五の八）（一部二十八錢東京下澁谷二一五其社）
▲刀劍と歷史（八）（一部二十錢東京下澁谷羽澤文庫）
▲ジャパンタイムス學生號（七の一）（一部十二錢東京有樂町ジャパンタイムス社）
▲商と工（五の八）（一部二十錢東京新富町二商工社）

商況

大阪株式特電（二十二日後場）

東株新株　二九八・九〇
大阪商船　二八六・四〇
日本郵船　二七〇・二〇

米特電（二十二日後場）

當限　一九七・二〇
中限　二〇三・二〇
先限　二〇三・四〇

▲兵庫株價二十四圓九十六錢東京二十一圓四十五錢大阪前止二十一圓五十九錢後寄六十五錢の入電にて當地當限來申十九圓三十錢より三十五錢引先十九圓三十二錢と同事に寄付三錢を擔げたるが大阪前五十六錢と安く寄りに賣物現はれ

▲續て不勢　商況不勢の機先なるも大阪の騰らざる入電に

同店の賣九千餘石買七千餘石
同店の賣一萬千餘石買三千餘石
同店の賣二千餘石買一萬餘石
同店の賣四千餘石買九千餘石
同店の賣四千餘石買八千餘石
同店の賣六千餘石

御園ルチゲン

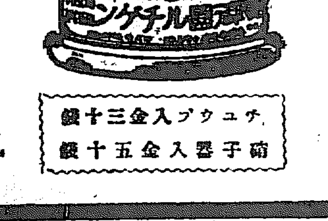
洋傘をかざしても防げぬのは夏の日焦け

塗さへすれば決て日に焦ぬ御園ルチゲン

帝國大學醫科大學教授高橋醫學博士發見

御園ルチゲンは高橋醫學博士が多年苦心研究の結果發見せられたる完全に日焦を防ぐ藥品を主成分とし、之に肌に有効なる化粧材料を配合したるもので、塗けて毫も目立つ事なく完全に日焦を防ぐ特効が御座いますから、旅行、散歩、海水浴などの節お忘れなく肌の日に曝される部分にお塗遊ばすと決て日に焦ける事が御座いません。

完全に日焦けを防ぐ化粧料御園ルチゲン



チューブ入金三十錢
瓶子入金五十錢

御園白粉本舖　伊東胡蝶園
御園白粉發賣元　丸見屋商店

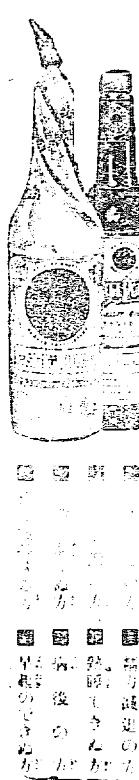
(282)

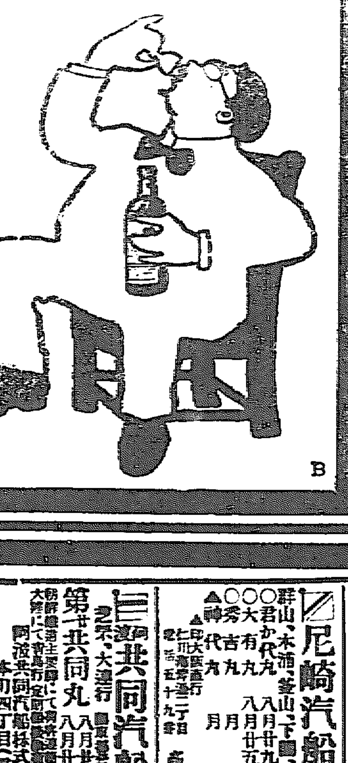
純生粹葡萄酒

赤玉ポートワイン

何事を措いてもこれを一杯

（類似品あり赤玉印に御注意）





キツト利目がある

赤玉ポートワイン　赤玉生葡萄酒　本店

賛化病院

京城明治町一丁目　電話二四〇番

醫學博士　岡山
醫學士

內科　小兒科　入院隨意

每日五名を限り無料施療す

古城憲治　上野亮藏

大邱覆審法院通譯　生山之井麟治氏著……受驗者の必備書

鮮文普通文官應試提要

寸珍型裝紙　五百餘頁携帶便　頗美本至製
定價金七十錢　送料金六錢

訂正增補　第六版　出來

■本書發行以來衆論なくも天下の甘日を以て一讀し版を重ぬる六版に及ぶ者なさして需用の路を塞するに觀るも如何に本書の完全適切なるかは今更贅言を要せず是則ち著者多年の心血を瀝ぎたる結晶物にして敢て偶然にあらざるは既に本書を利用せし一般讀者の首肯せらるゝ所なるべし今や更に第六版の新裝を一新し以て諸士の活躍を期待しつゝあり乞ふ御愛讀を

■發行所　大邱　王村書店

賣捌所　京城日報社代理部　取次所　京城本町一　電話六八四　大阪屋號　京城本町二　電話一一六六　巖松堂

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行
○和歌浦丸　八月廿五日後五時出帆
○立神丸　八月　日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○和歌浦丸　八月　日後十時出帆
○立神丸　八月廿四日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆

釜山驛堀立新町本社　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

大連、芝罘、天津行
第廿共同丸　八月廿二日午後入港　八月廿四日後六時出帆

阿波共同汽船株式會社

仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
元山代理店　田口回漕店
京城取次店　南大門（電話二六八〇）　河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
○君が代丸　八月廿九日後四時出帆
○大有丸　八月廿五日後四時出帆
○秀吉丸　月　日後四時出帆
▲神代丸　月　日後四時出帆

▲仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大邱浦項間自動車時間

大塚自動車所
大邱出張部

金泉織居自動車支部

金泉間自動車時間